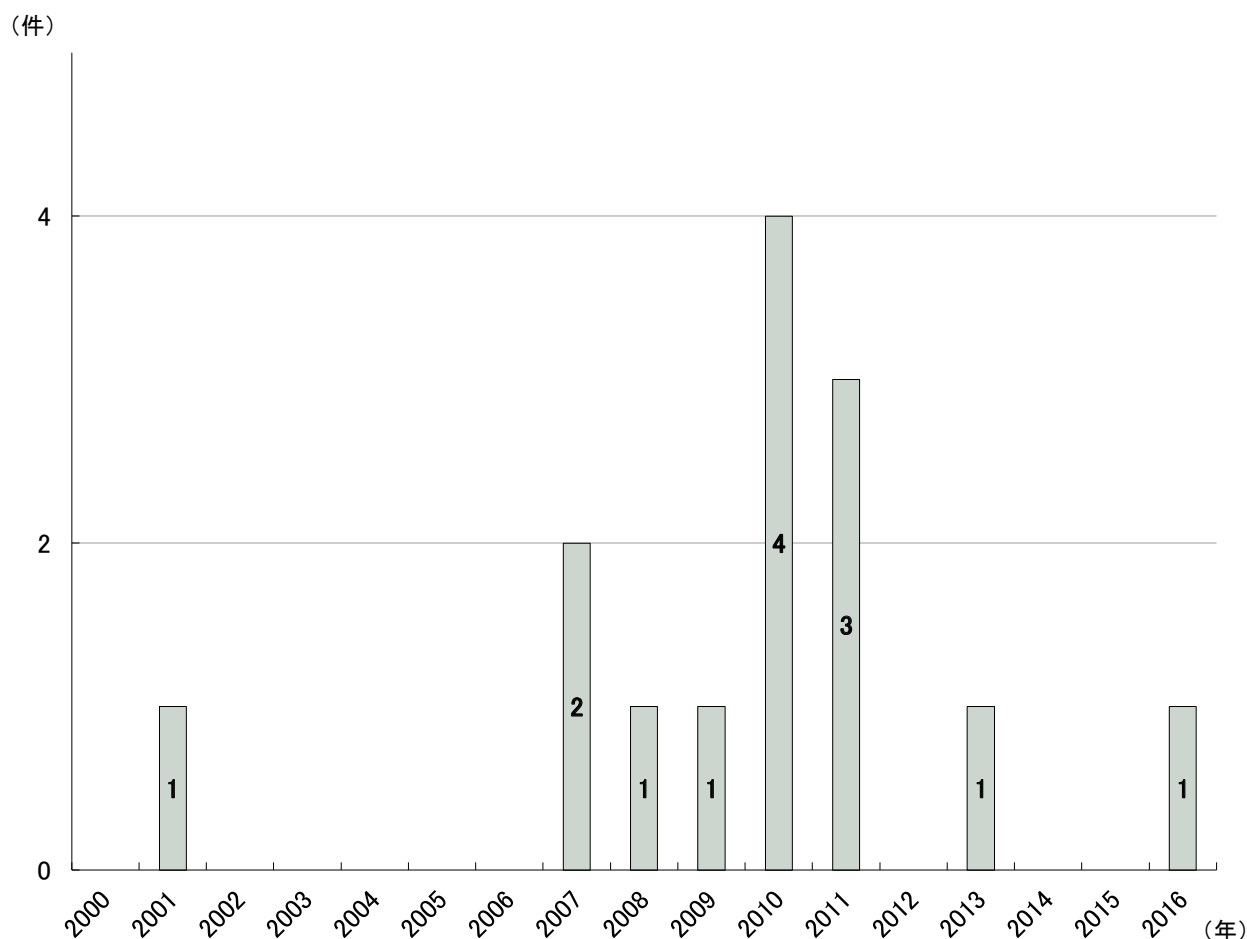


第14章 小腸移植

臓器提供・移植データブック 2017



図・表 14.1 小腸移植 年次移植件数

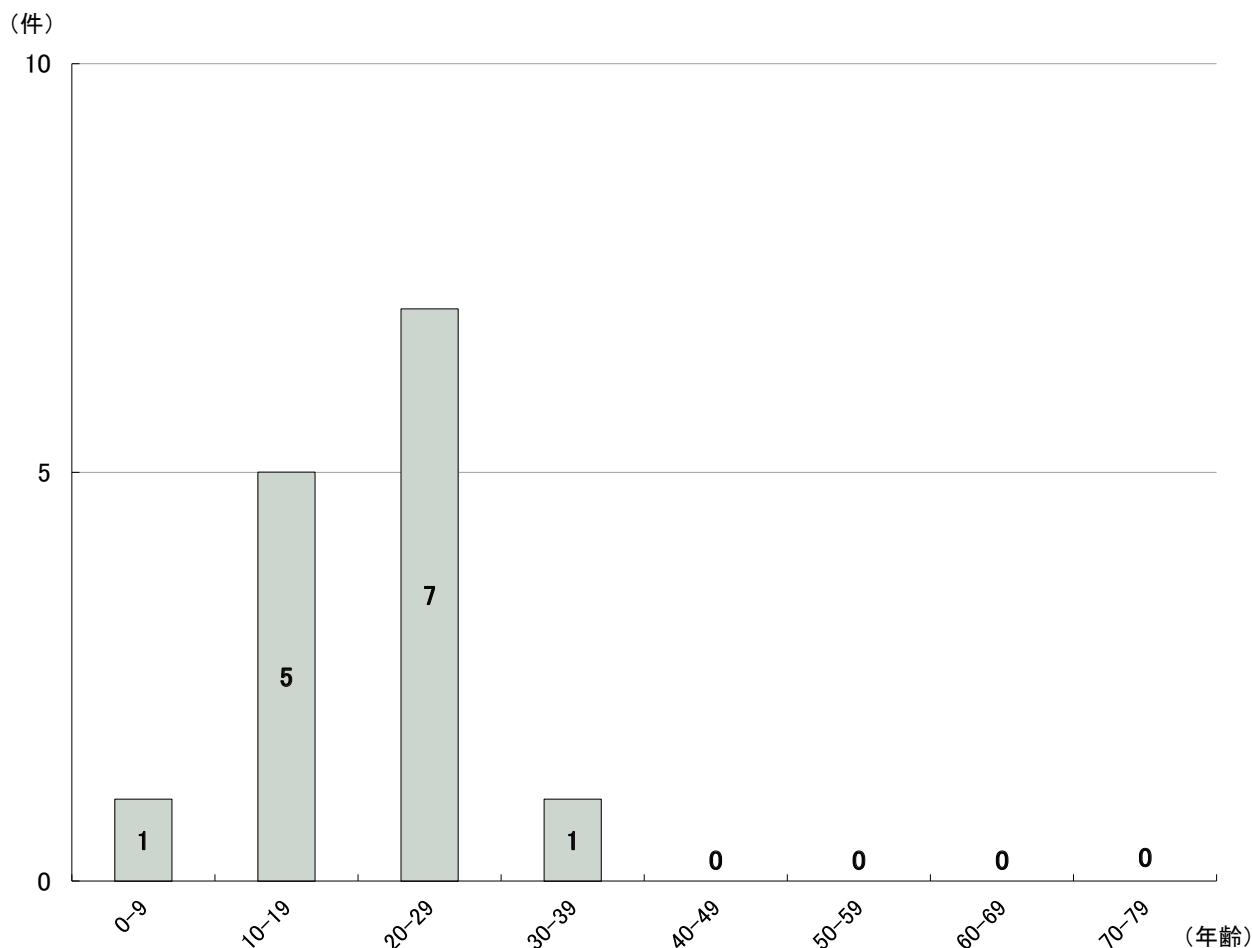


年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
小腸移植		1						2	1	1	4	3		1			1	14

小腸移植は2001年より実施され、年間0～4件で推移している。これまでに合計14件が移植に至った。



図・表 14.2 小腸移植 レシピエント移植時年齢



年齢	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	合計
小腸移植	1	5	7	1					14

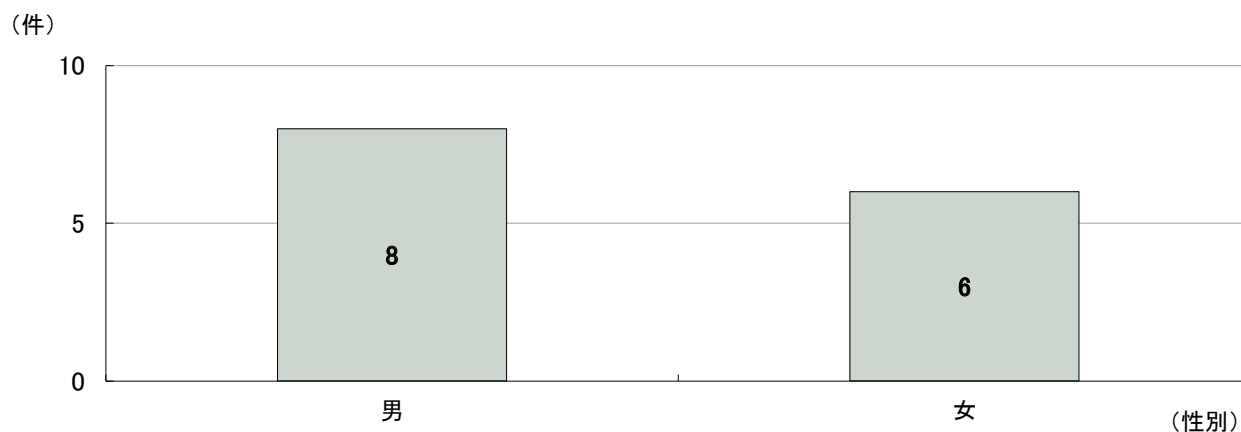
15歳未満: 5件

平均: 19.9±8.8歳

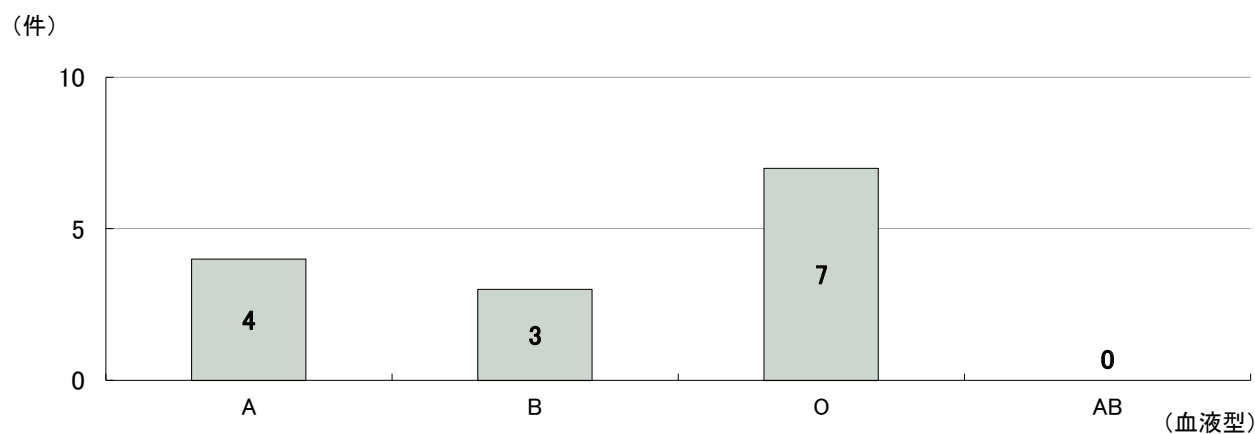
小腸移植14件中、移植時年齢で、最も多い年齢(10歳階級別)は、20～29歳の7件(50.0%)であり、平均は19.9歳であった。15歳未満は5件であった。



図・表 14.3 / 14.4 小腸移植 レシピエント性別・血液型



性別	男	女	合計
小腸移植	8	6	14

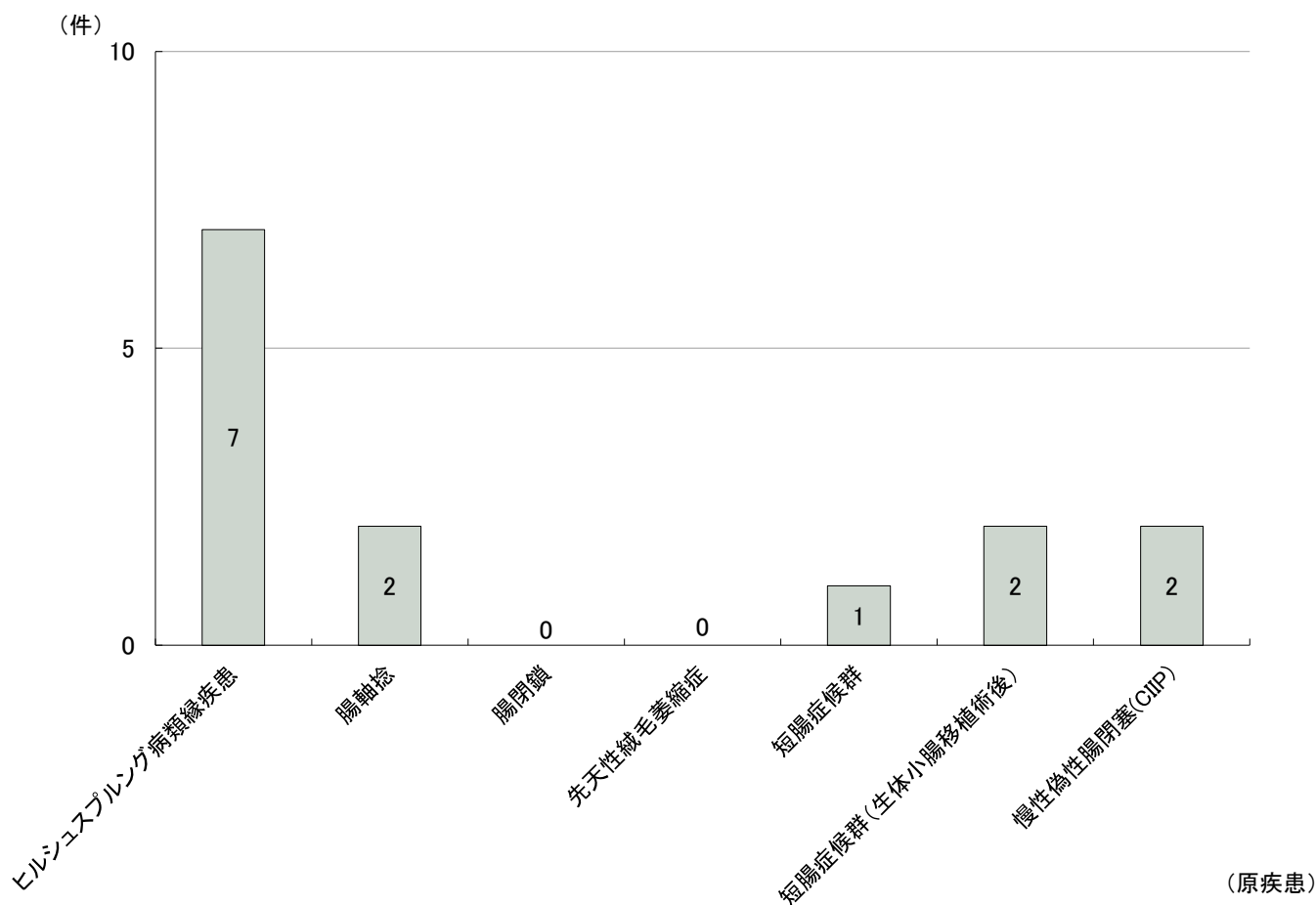


血液型	A	B	O	AB	合計
小腸移植	4	3	7	0	14

小腸移植14件中、男性8件(57.1%)、女性6件(42.9%)、血液型A型4件(28.6%)、B型3件(21.4%)、O型7件(50.0%)、AB型0件(0.0%)であった。



図・表 14.5 小腸移植 レシピエント原疾患



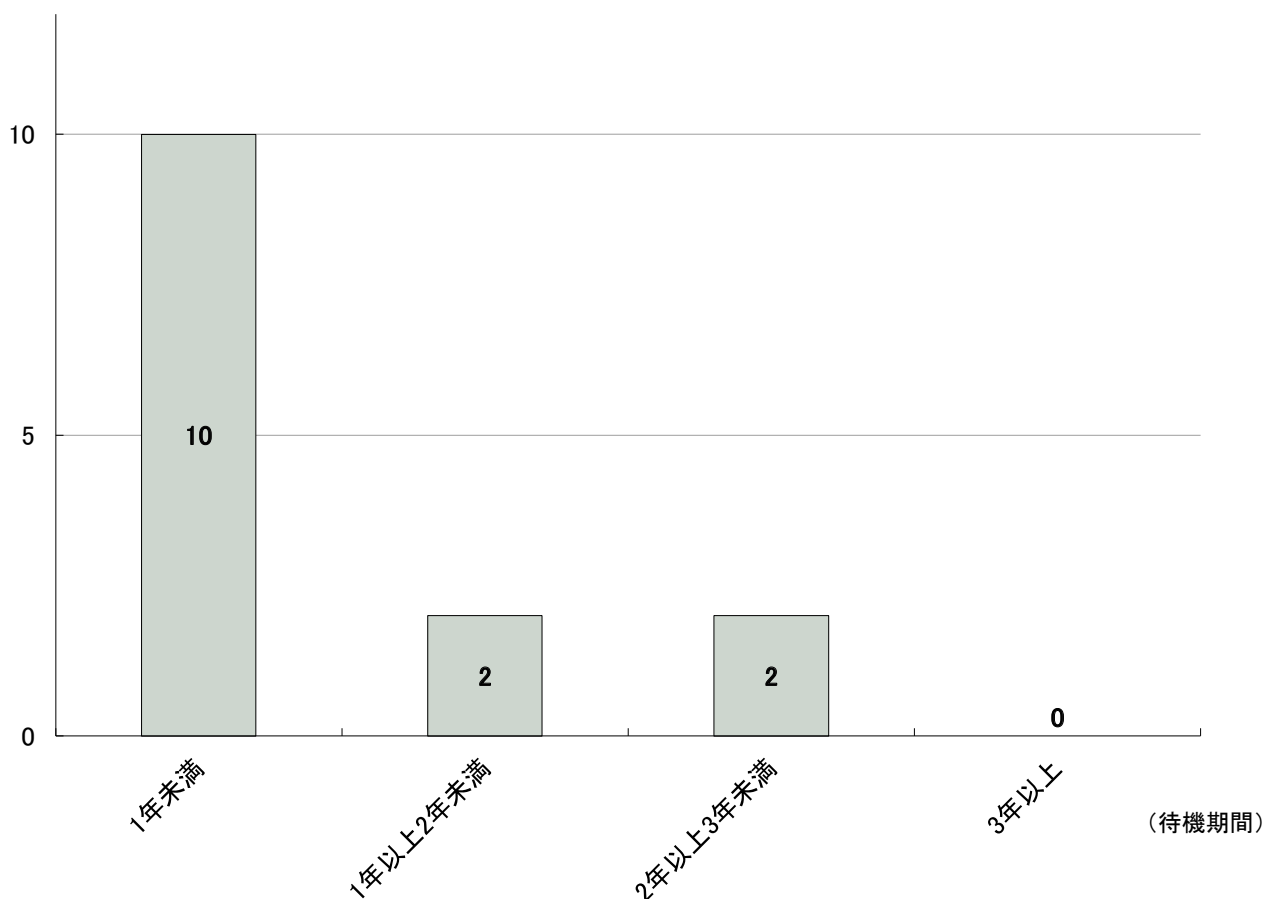
原疾患	ヒルシュスプルング病類縁疾患	腸軸捻	腸閉鎖	先天性絨毛萎縮症	短腸症候群	短腸症候群(生体小腸移植術後)	慢性偽性腸閉塞(CIIP)	合計
小腸移植	7	2			1	2	2	14

小腸移植14件中、原疾患別ではヒルシュスプルング病類縁疾患7件(50.0%)、腸軸捻、短腸症候群(生体小腸移植術後)、慢性偽性腸閉塞(CIIP)がそれぞれ2件(14.3%)であった。



図・表 14.6 小腸移植 レシピエント待機期間

(件)



待機期間	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	合計
小腸移植	10	2	2		14

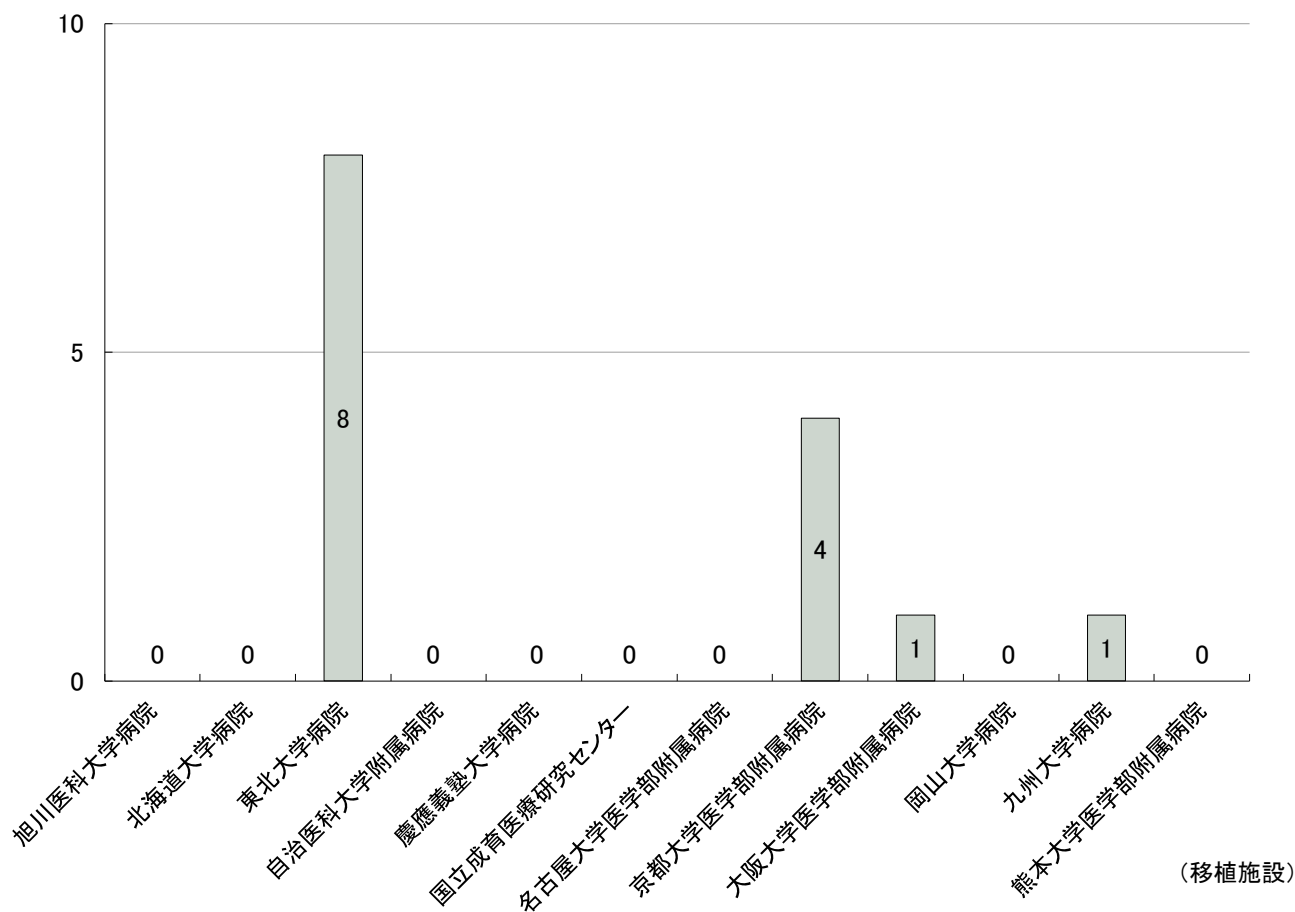
平均: 371.7 ± 338.1日

小腸移植14件中、移植までの待機期間が1年未満が最も多く10件(71.4%)、次いで1年以上2年未満、2年以上3年未満がそれぞれ2件(14.3%)であった。平均は371.7日(約1年)、最短32日、最長1,078日であった。



図・表 14.7 小腸移植 レシピエント移植施設

(件)

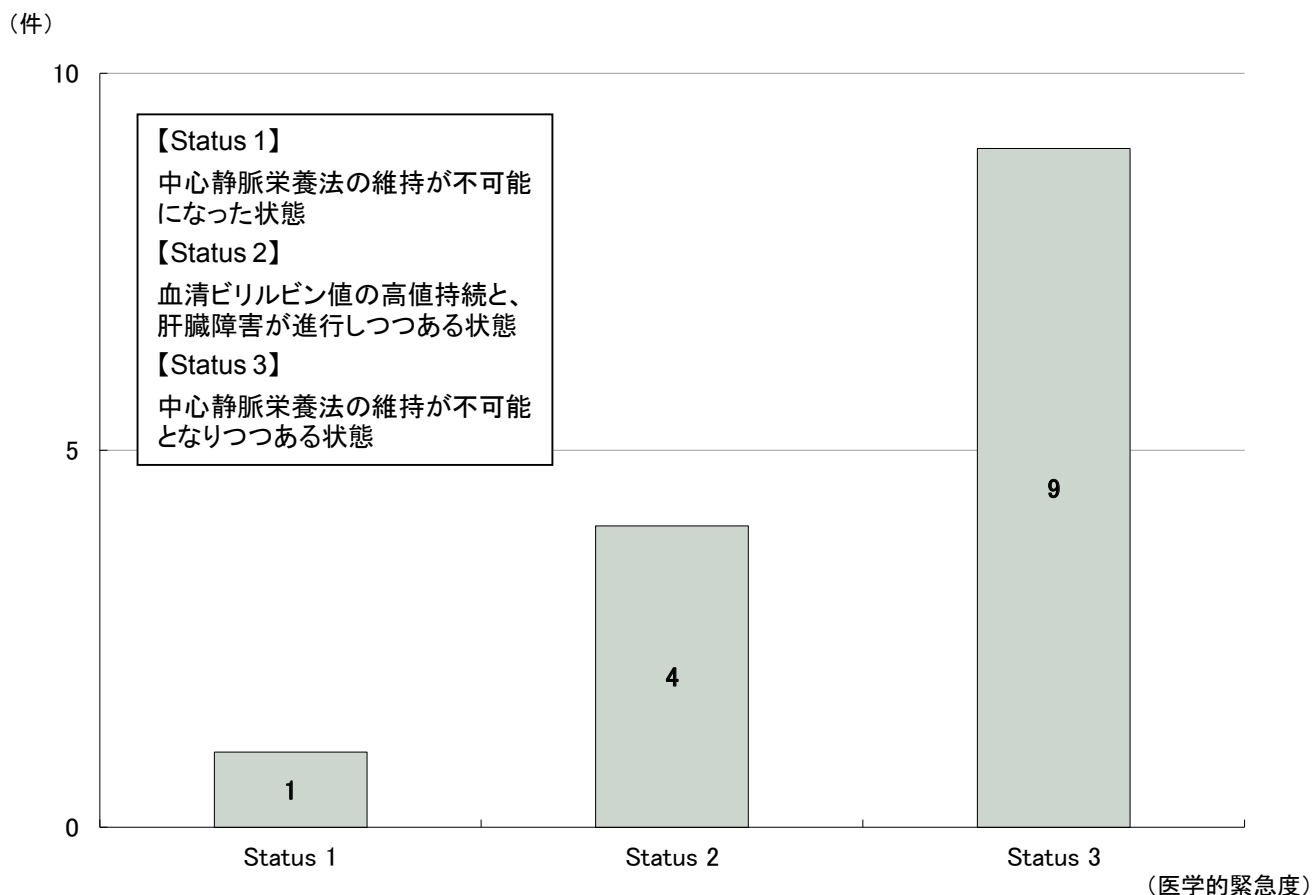


移植施設	旭川医科大学病院	北海道大学病院	東北大学病院	自治医科大学附属病院	慶應義塾大学病院	国立成育医療研究センター	名古屋大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	岡山大学病院	九州大学病院	熊本大学医学部附属病院	合計
小腸移植			8					4	1		1		14

小腸移植14件中、移植施設別では、東北大学病院、京都大学医学部附属病院の順に多かった。



図・表 14.8 小腸移植 レシピエント医学的緊急度

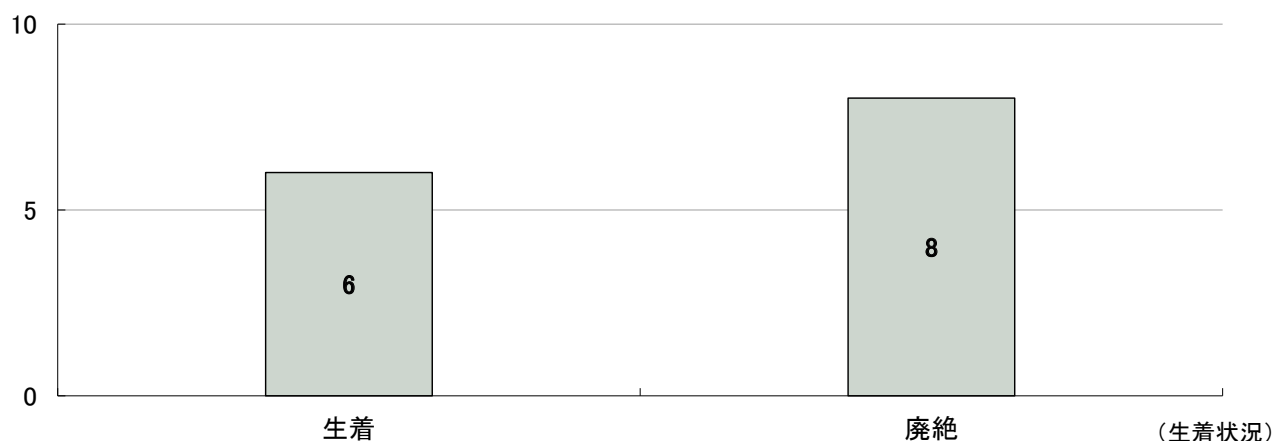
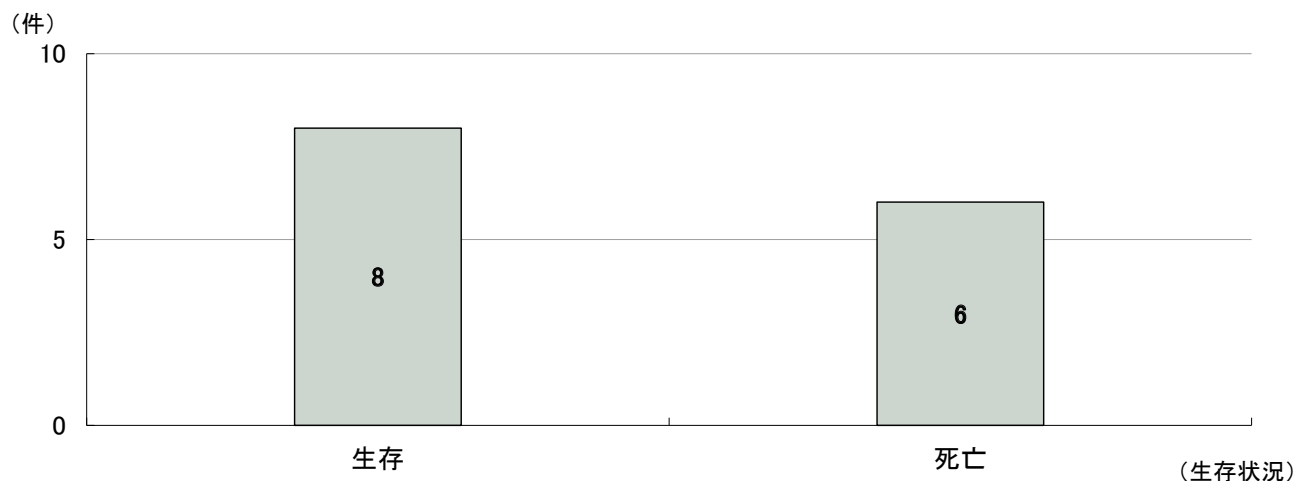


医学的緊急度	Status 1	Status 2	Status 3	合計
小腸移植	1	4	9	14

小腸移植14件中、医学的緊急度別では、Status 1が1件(7.1%)、Status 2が4件(28.6%)、Status 3が9件(64.3%)であった。



図・表 14.9 小腸移植 レシピエント生存・生着(2016年末)



生存状況	生存	死亡	合計
小腸移植	8	6	14

生着状況	生着	廃絶	合計
小腸移植	6	8	14

小腸移植14件中、生存しているレシピエントは、8件(57.1%)、生着しているレシピエントは、6件(42.9%)であった。

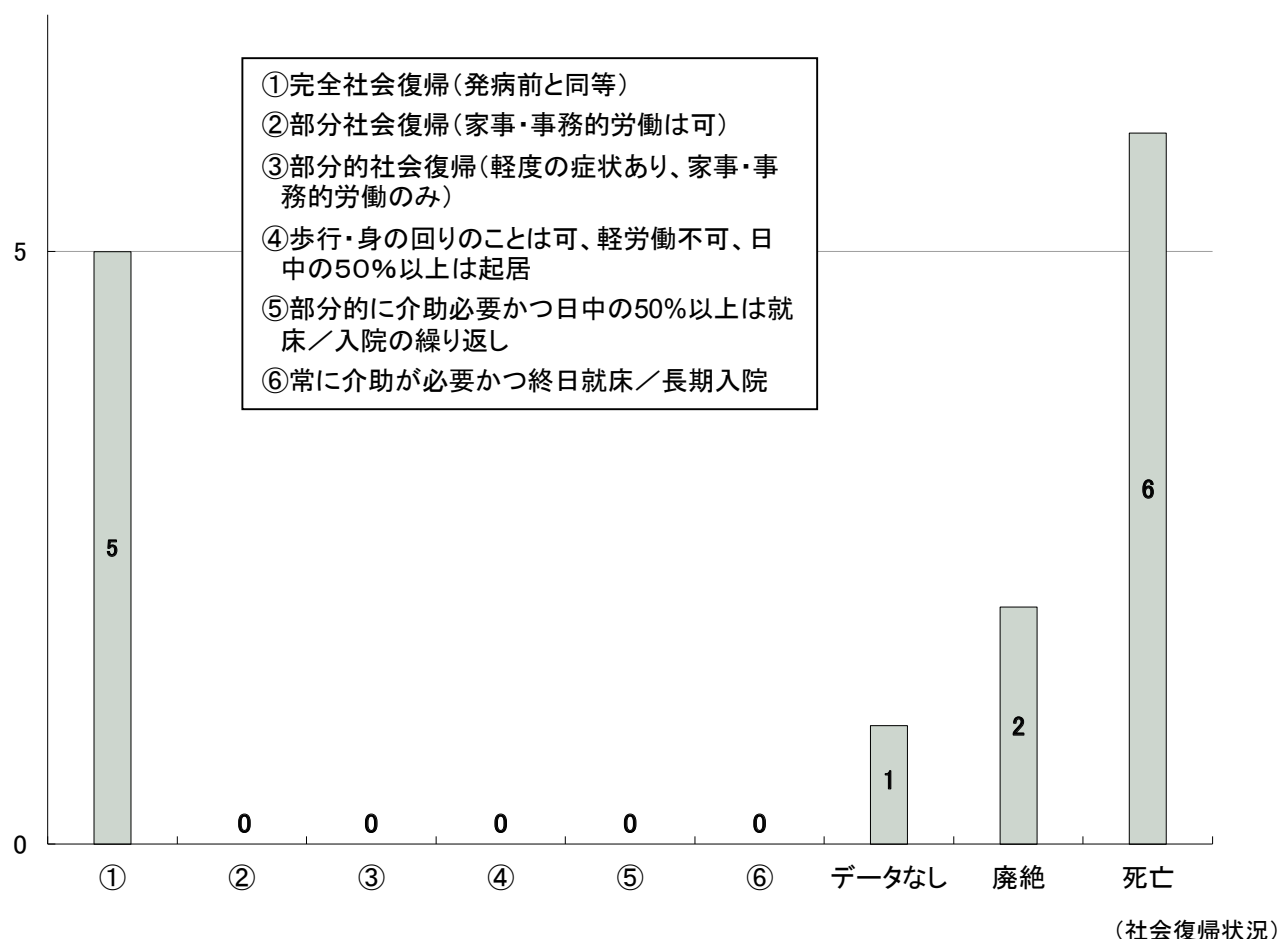


図・表 14.10

小腸移植

レシピエント社会復帰状況(2016年末)

(件)

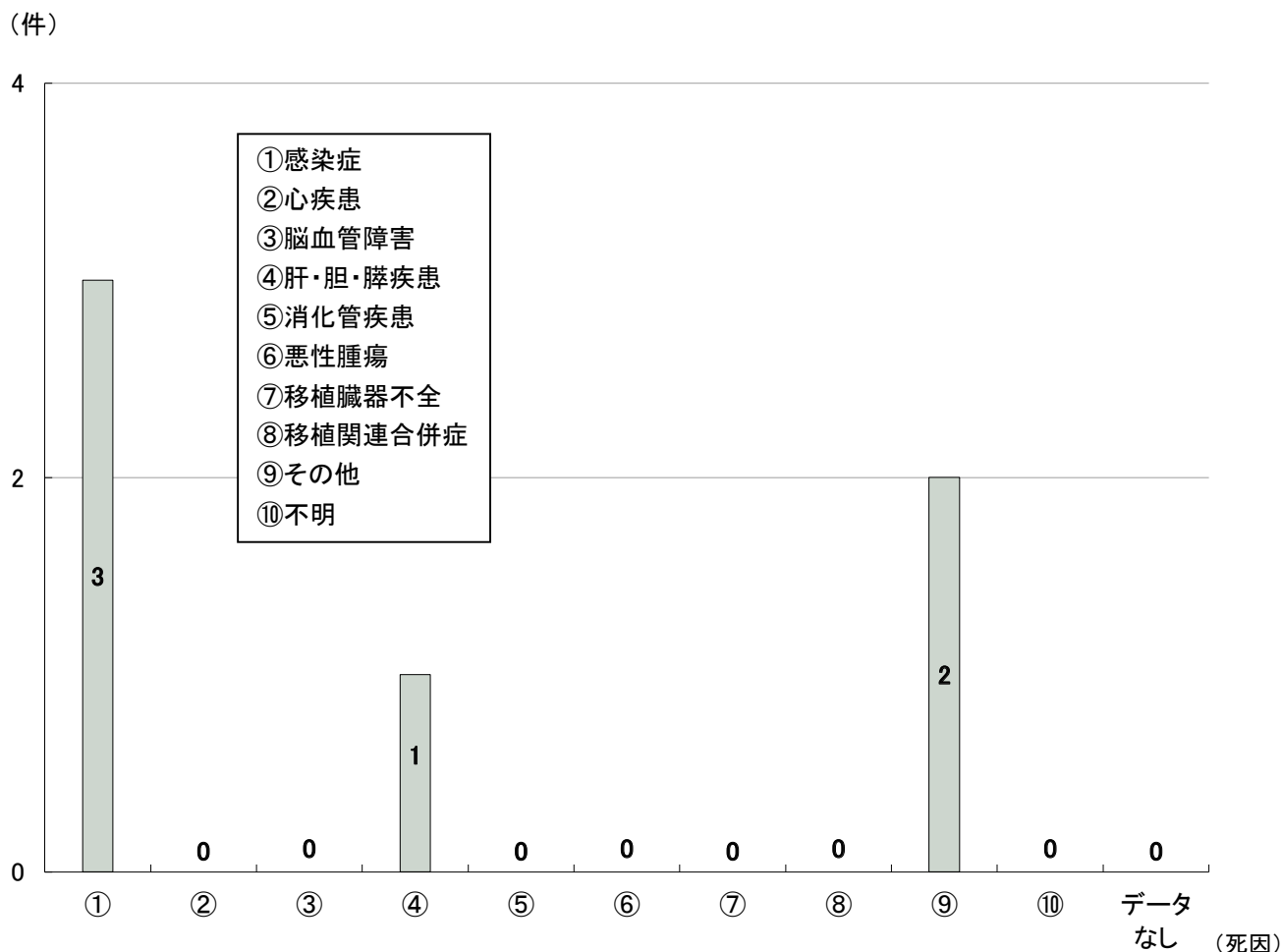


社会復帰状況	①	②	③	④	⑤	⑥	データなし	廃絶	死亡	合計
小腸移植	5						1	2	6	14

小腸移植14件中、レシピエントの社会復帰状況は、5件(報告があり、生存・生着中の100.0%)が完全社会復帰の状況である。なお、「データなし」は、移植直後のため、報告されていない。



図・表 14.11 小腸移植 レシピエント死亡 死因

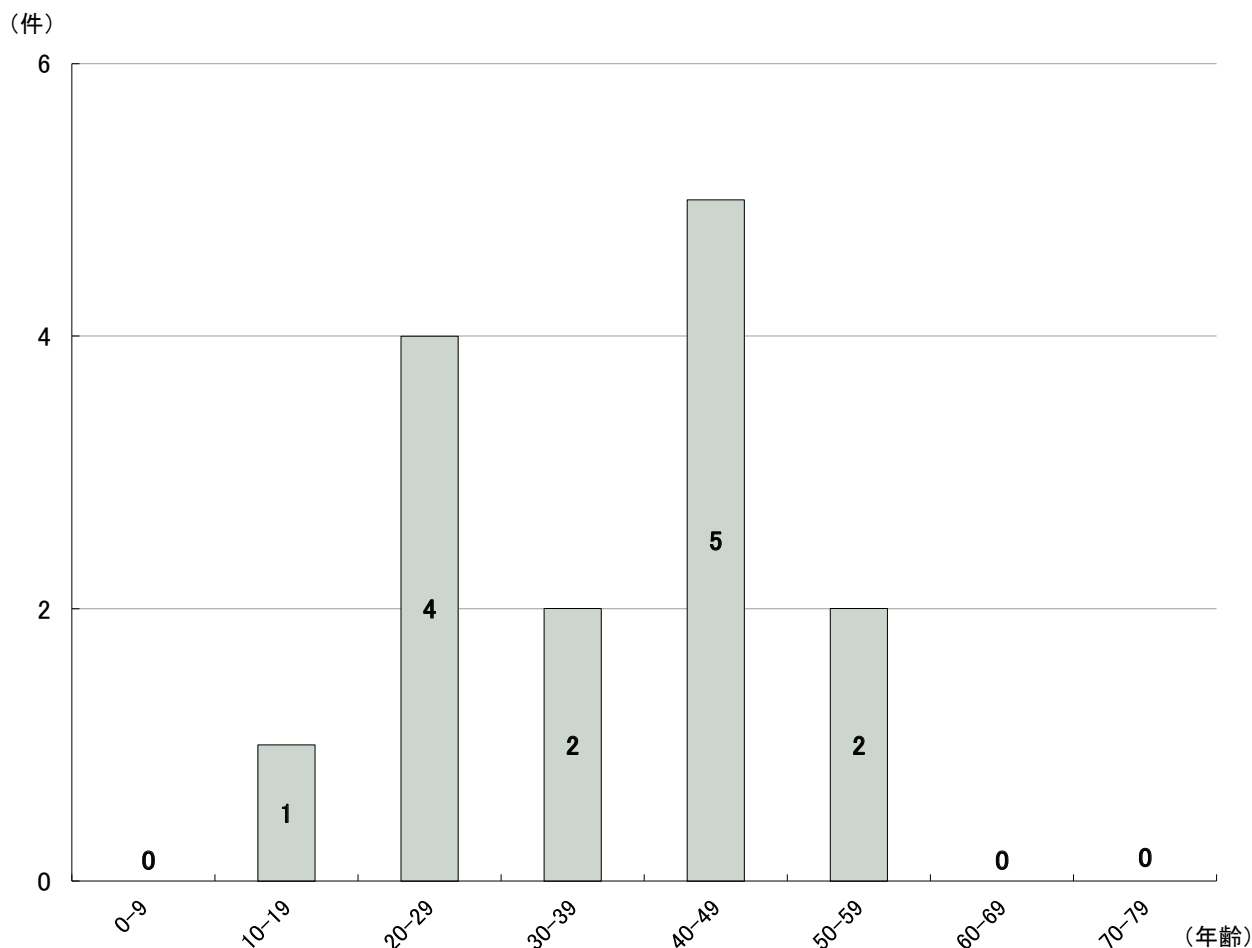


死因	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	データなし	合計
小腸移植	3			1					2			6

小腸移植後死亡6件中、死因は、感染症3件(50.0%)、肝・胆・膵疾患1件(16.7%)であった。



図・表 14.12 小腸移植 ドナー年齢



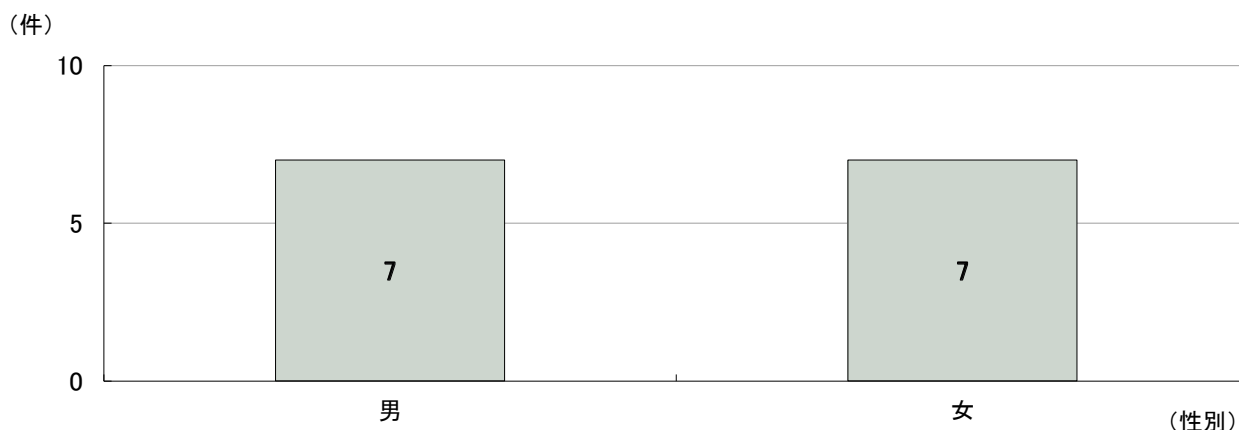
年齢	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	合計
小腸移植		1	4	2	5	2			14

平均: 36.4 ± 12.9歳

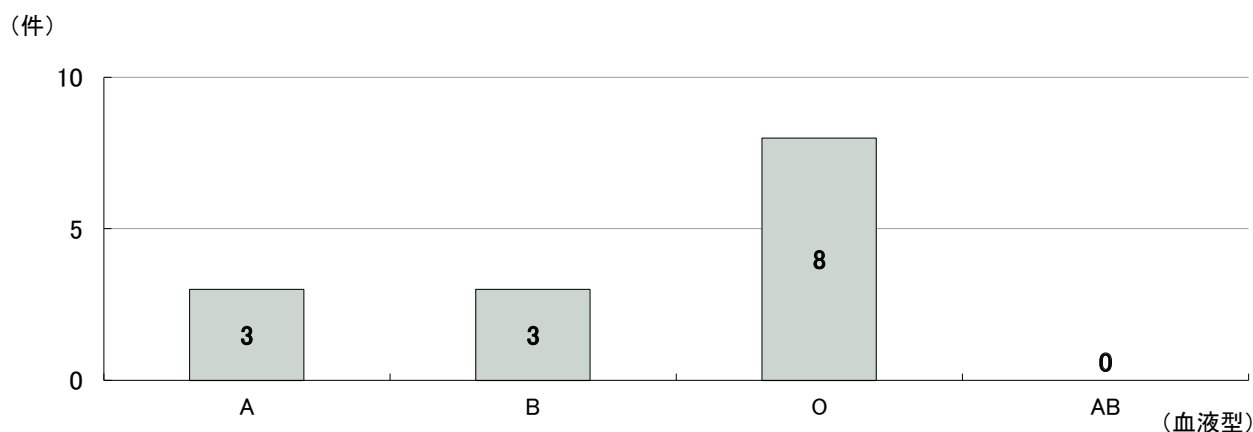
小腸移植14件中、ドナー年齢で、最も多い年齢(10歳階級別)は、40～49歳の5件(35.7%)、次いで20～29歳の4件(28.6%)であり、平均が36.4歳であった。



図・表 14.13 / 14.14
小腸移植
ドナー性別・血液型



性別	男	女	合計
小腸移植	7	7	14

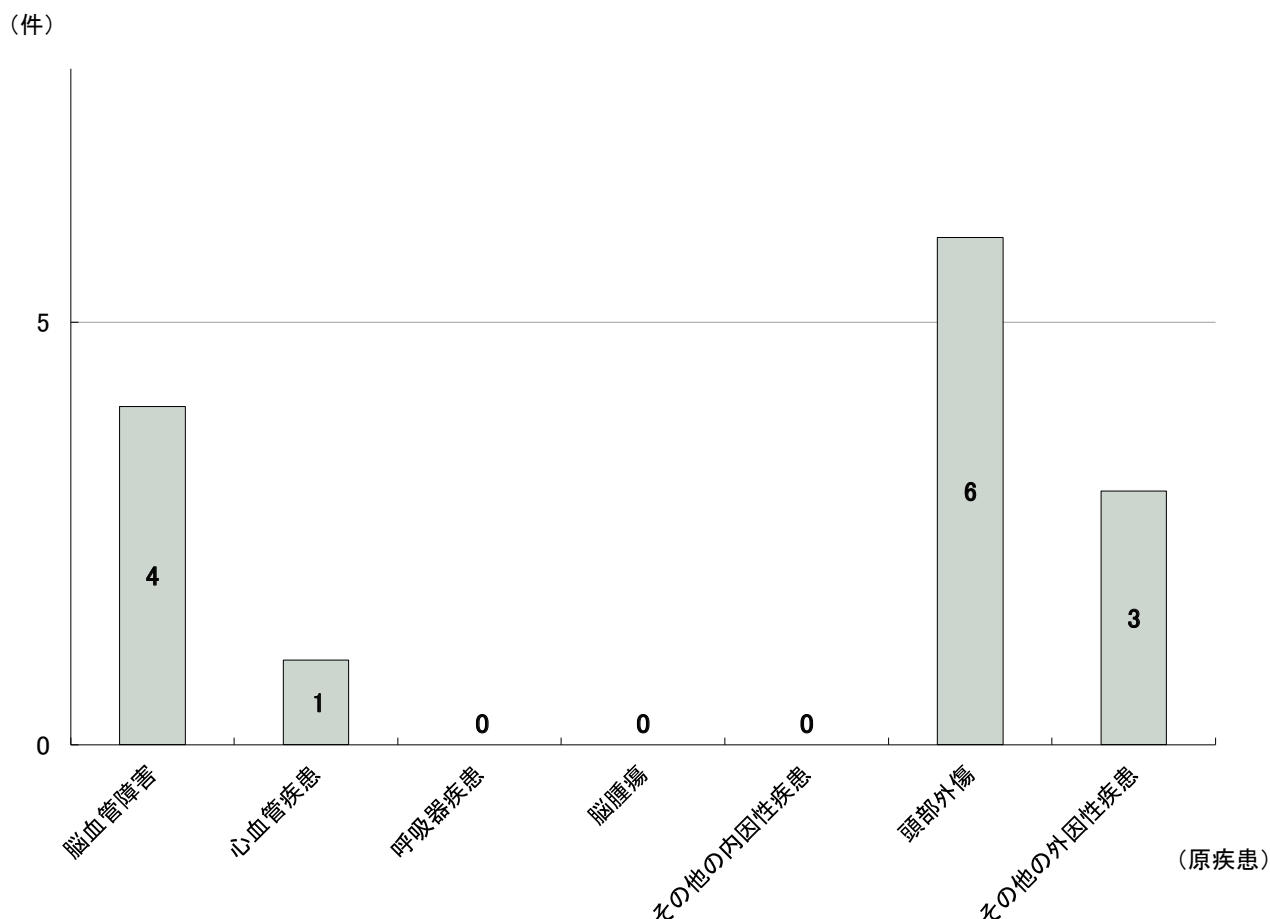


血液型	A	B	O	AB	合計
小腸移植	3	3	8	0	14

小腸移植14件中、ドナーは男性7件(50.0%)、女性7件(50.0%)、血液型A型3件(21.4%)、B型3件(21.4%)、O型8件(57.1%)、AB型0件(0.0%)であった。



図・表 14.15 小腸移植 ドナー原疾患

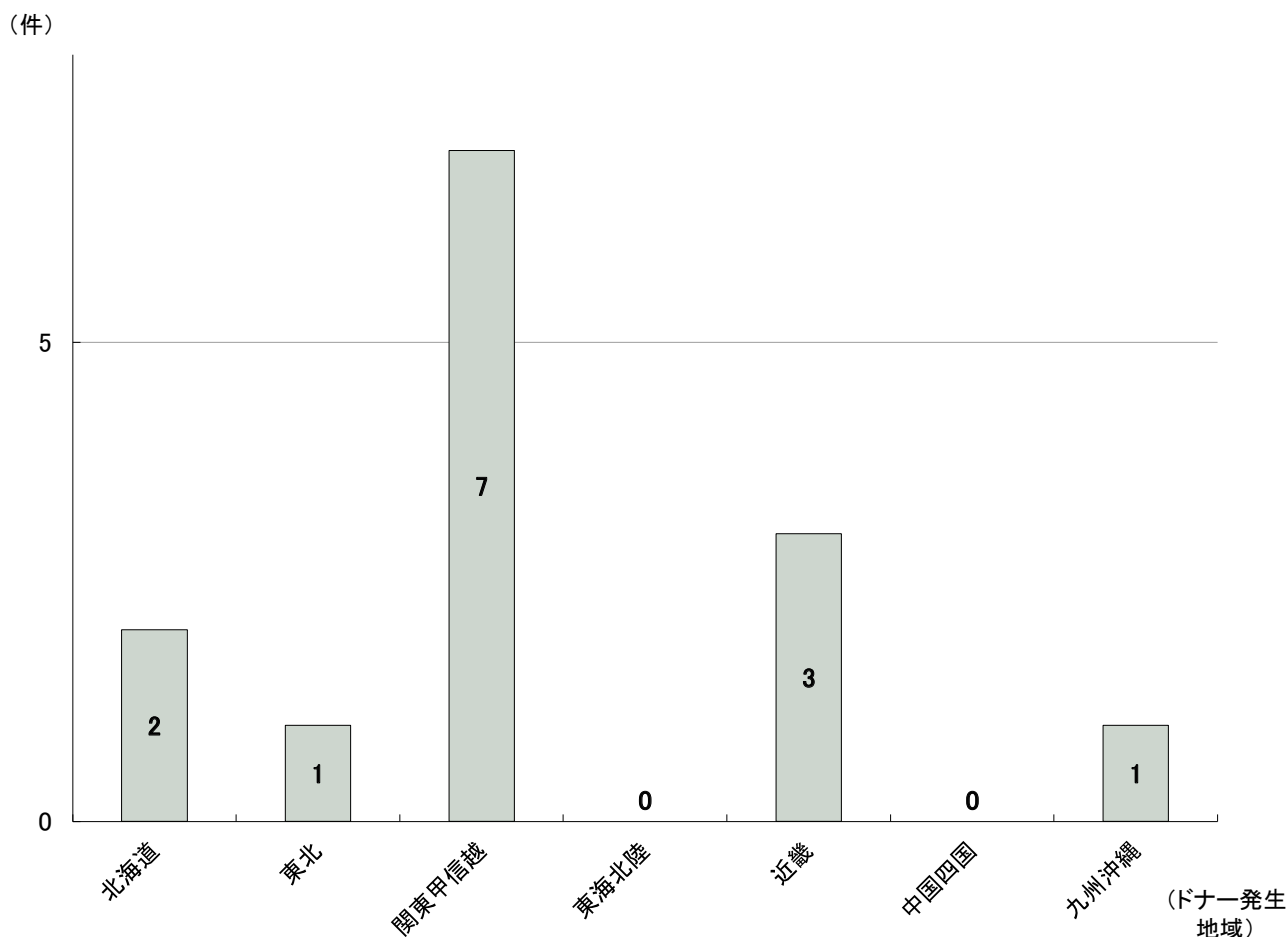


原疾患	内因性疾患					小計	外因性疾患			合計
	脳血管障害	心血管疾患	呼吸器疾患	脳腫瘍	その他		頭部外傷	その他	小計	
小腸移植	4	1				5	6	3	9	14

小腸移植14件中、ドナーの原疾患は、脳血管障害4件(28.6%)、頭部外傷6件(42.9%)であった。内因性疾患が5件(35.7%)、外因性疾患が9件(64.3%)であった。



図・表 14.16
小腸移植
ドナー発生地域

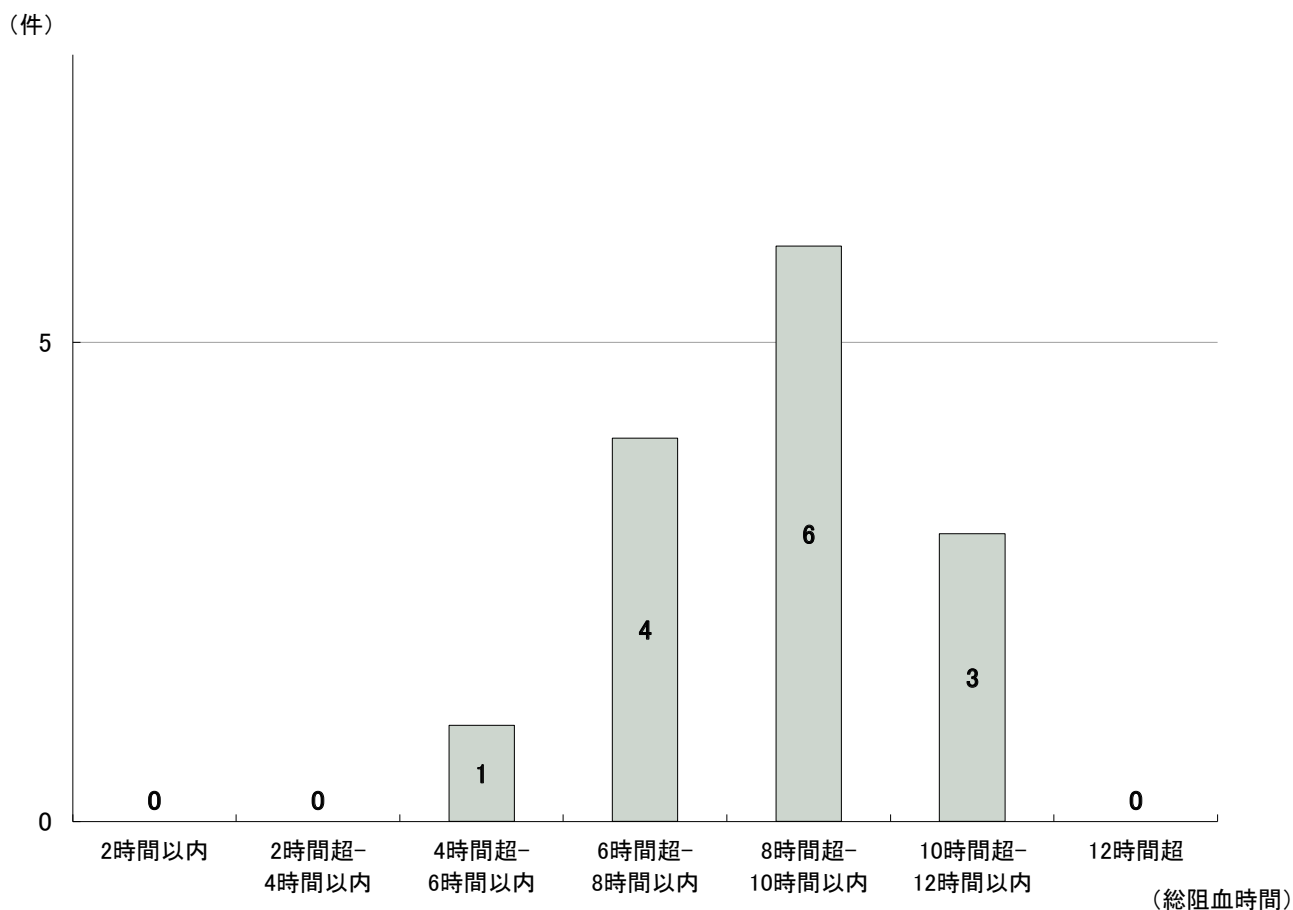


発生地域	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
小腸移植	2	1	7	0	3	0	1	14

小腸移植14件中、ドナーの発生地域は、北海道2件(14.3%)、東北1件(7.1%)、関東甲信越7件(50.0%)、東海北陸0件(0.0%)、近畿3件(21.4%)、中国四国0件(0.0%)、九州沖縄1件(7.1%)であった。



図・表 14.17
小腸移植
総阻血時間



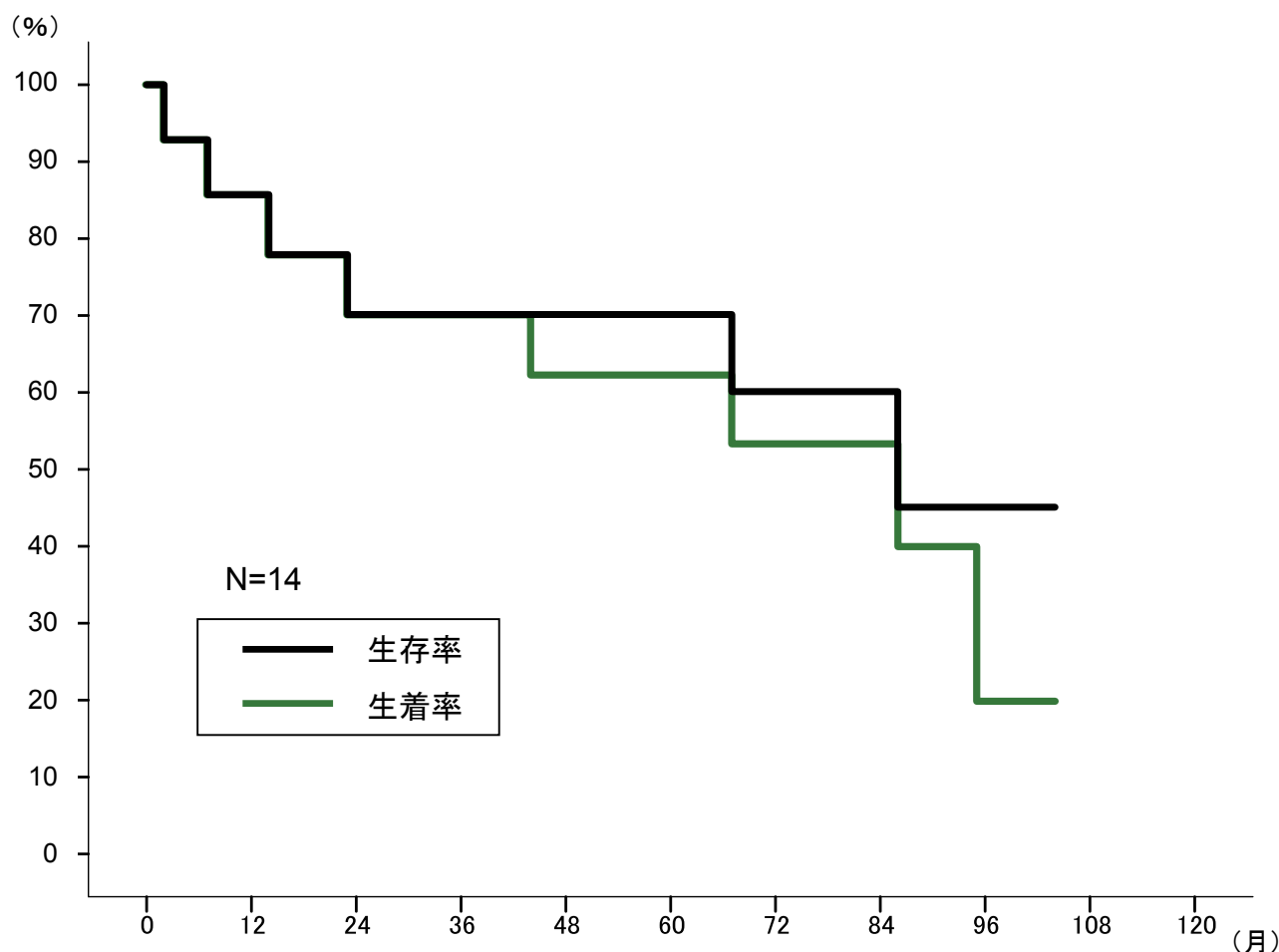
総阻血時間	2時間以内	2時間超-4時間以内	4時間超-6時間以内	6時間超-8時間以内	8時間超-10時間以内	10時間超-12時間以内	12時間超	合計
小腸移植			1	4	6	3		14

平均: 516 ± 95分

小腸移植14件中、総阻血時間は、8時間超-10時間以内が6件(42.9%)、6時間超-8時間以内が4件(28.6%)であった。平均は8時間36分であった。



図・表 14.18
 小腸移植
 生存率・生着率



小腸移植	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
生存率	85.7%	70.1%	70.1%	70.1%	70.1%	60.1%	60.1%	45.1%
生着率	85.7%	70.1%	70.1%	62.3%	62.3%	53.4%	53.4%	20.0%

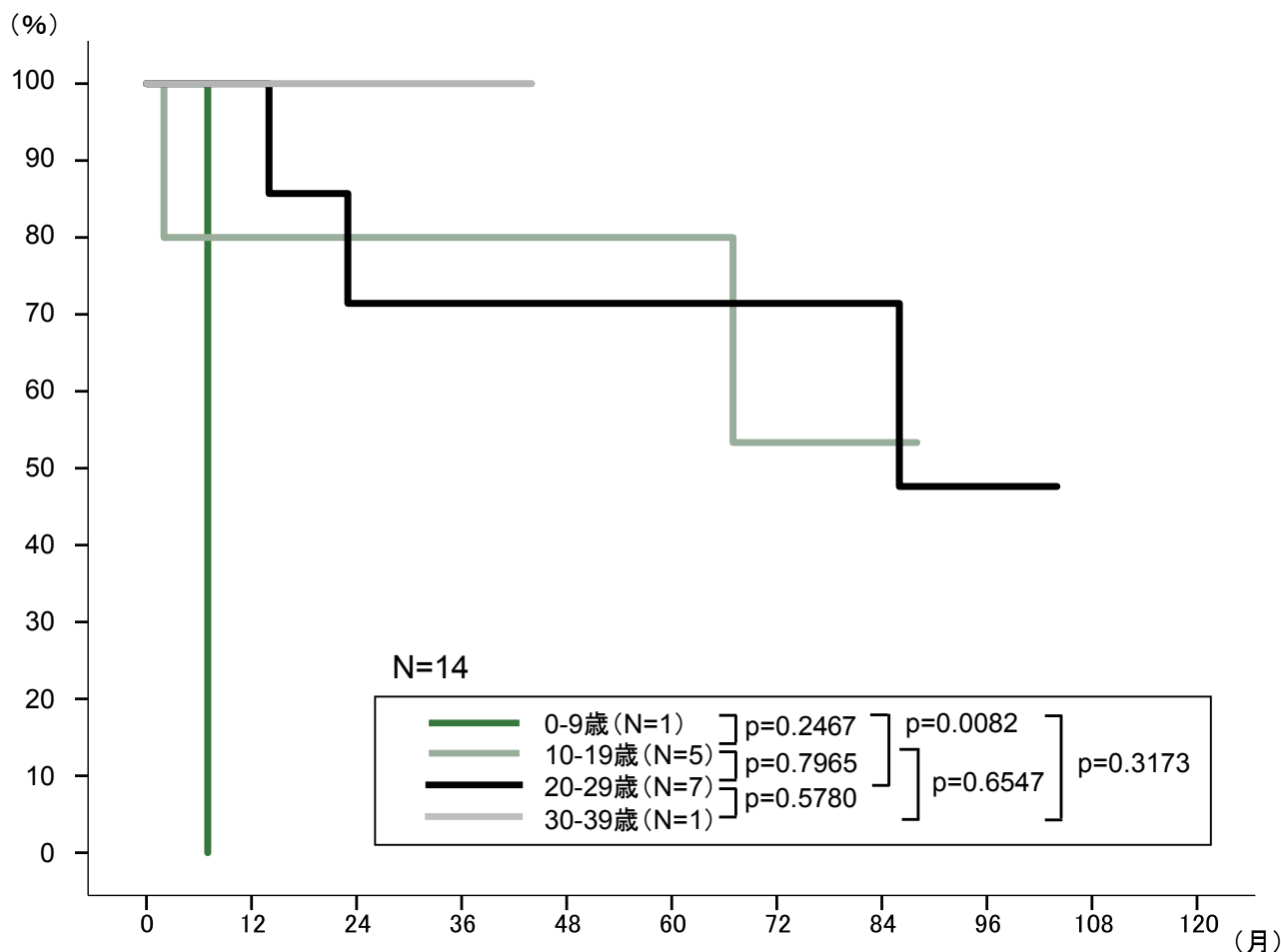
2001年から2016年までの小腸移植14件の生存率・生着率は、それぞれ1年で85.7%・85.7%、5年で70.1%・62.3%、8年で45.1%・20.0%であった。



図・表 14.19

小腸移植

レシピエント年齢(10歳代別) 生存率



レシピエント年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-9歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10-19歳	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	53.3%	53.3%	-
20-29歳	100.0%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	47.6%
30-39歳	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

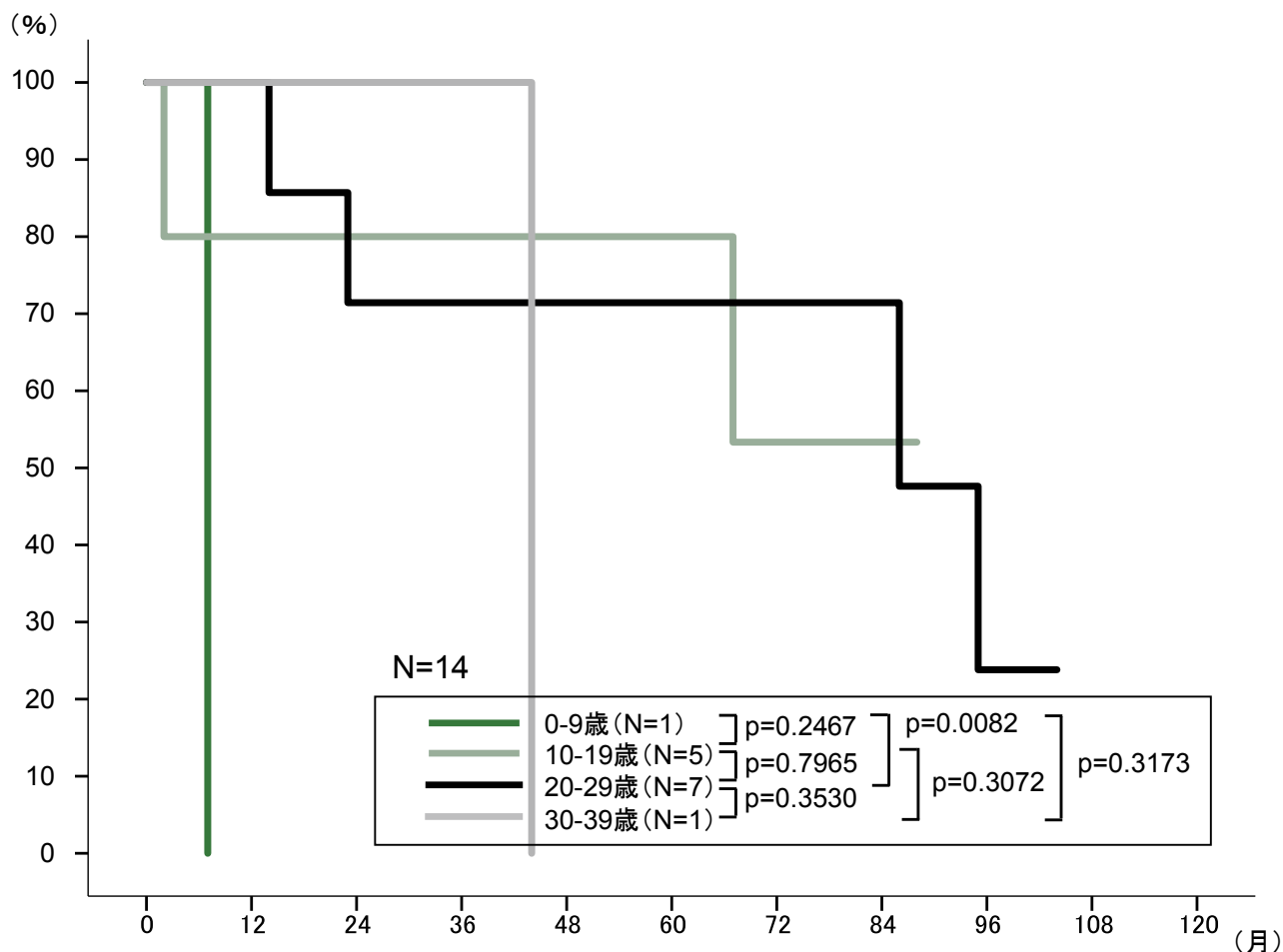
小腸移植14件のレシピエント年齢(10歳代別)の生存率は、0-9歳と20-29歳の間で有意差が認められた。



図・表 14.20

小腸移植

レシピエント年齢(10歳代別) 生着率

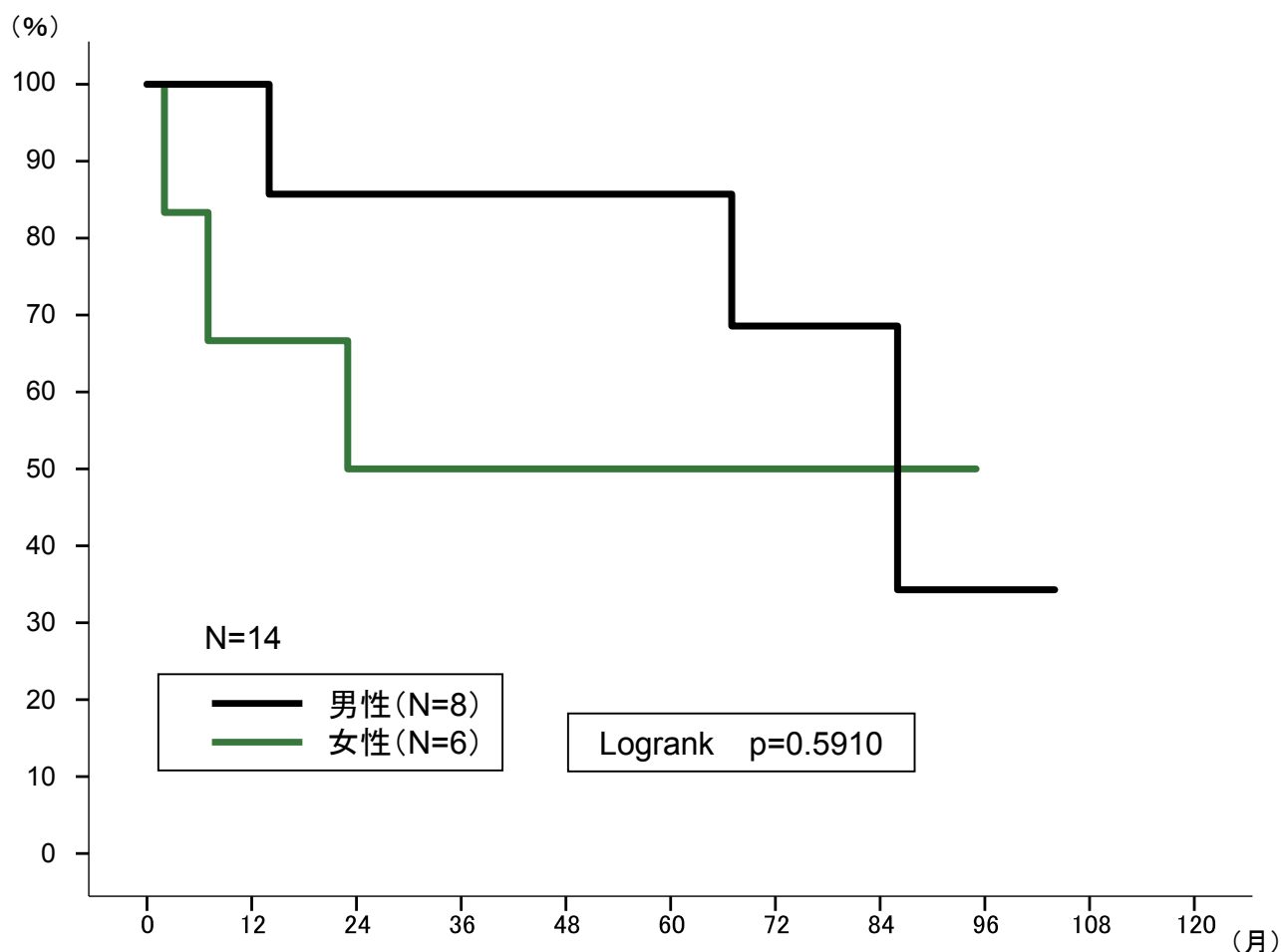


レシピエント年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-9歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10-19歳	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	53.3%	53.3%	-
20-29歳	100.0%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	23.8%
30-39歳	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小腸移植14件のレシピエント年齢(10歳代別)の生着率は、0-9歳と20-29歳の間で有意差が認められた。



図・表 14.21
 小腸移植
 レシピエント性別 生存率

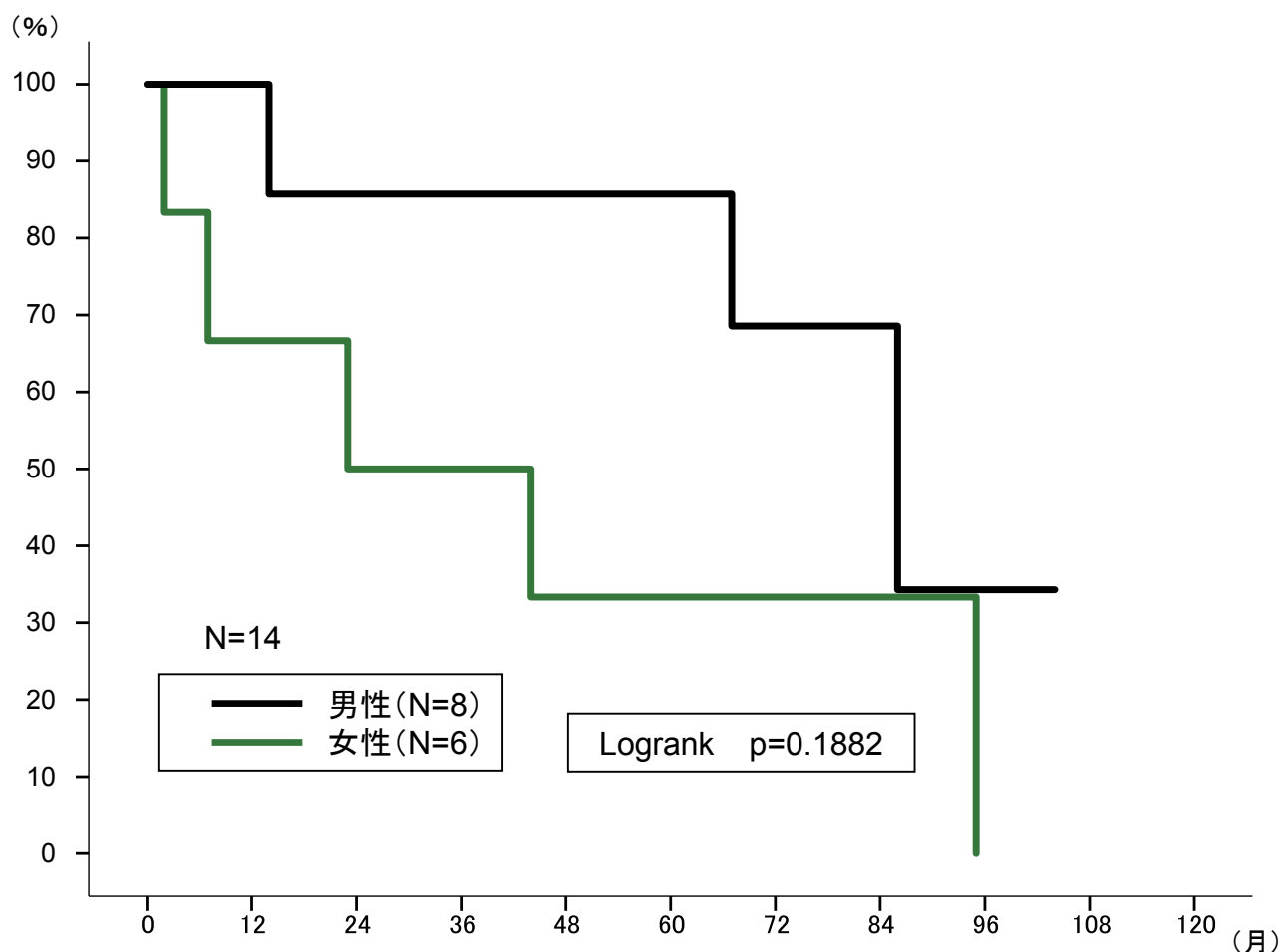


レシピエント性別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
男 性	100.0%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	68.6%	68.6%	34.3%
女 性	66.7%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-

小腸移植14件のレシピエント性別の5年生存率は、それぞれ男性85.7%、女性50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.22
 小腸移植
 レシピエント性別 生着率

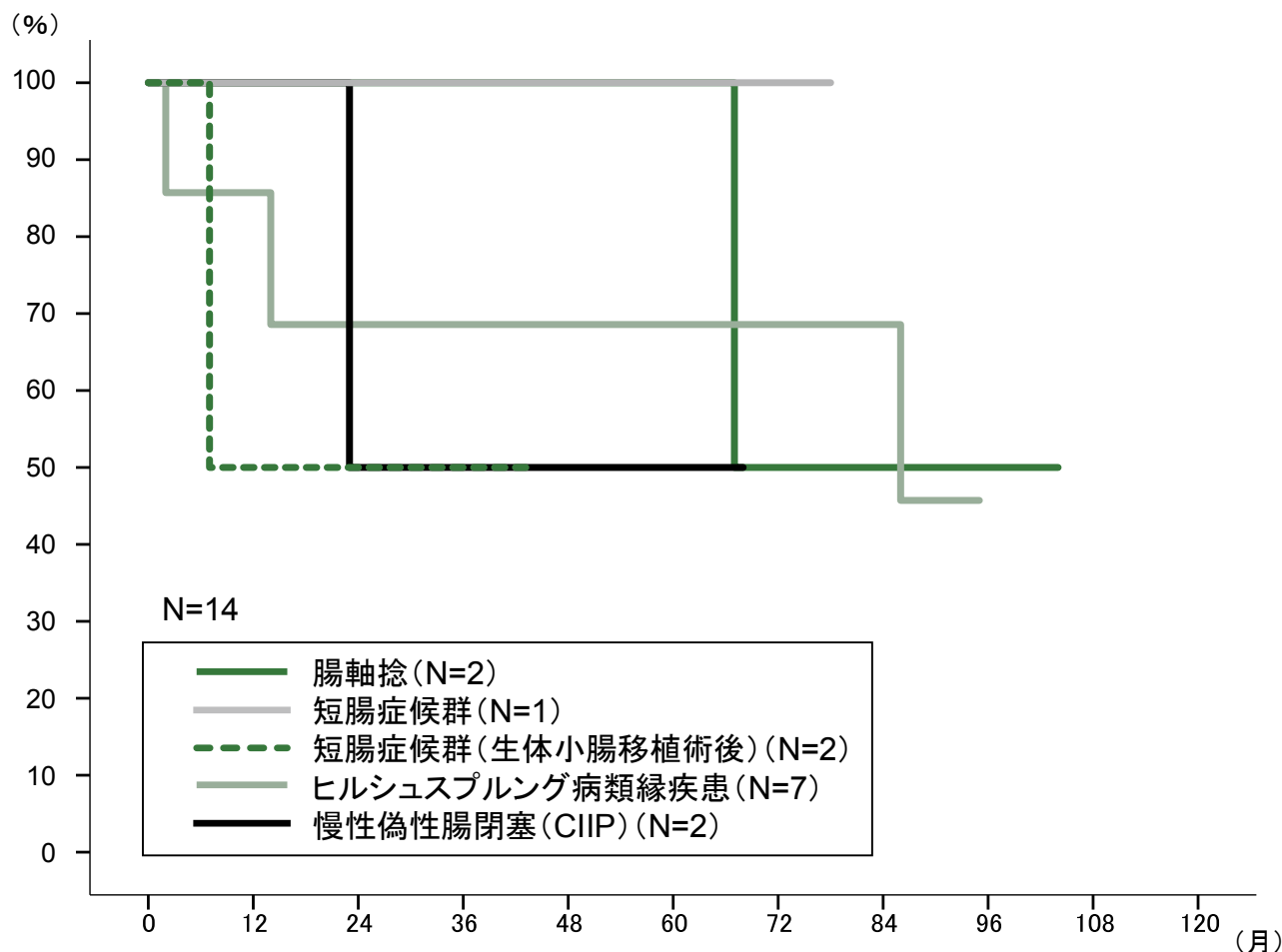


レシピエント性別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
男性	100.0%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	68.6%	68.6%	34.3%
女性	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%

小腸移植14件のレシピエント性別の5年生着率は、それぞれ男性85.7%、女性33.3%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.23
小腸移植
レシピエント原疾患 生存率

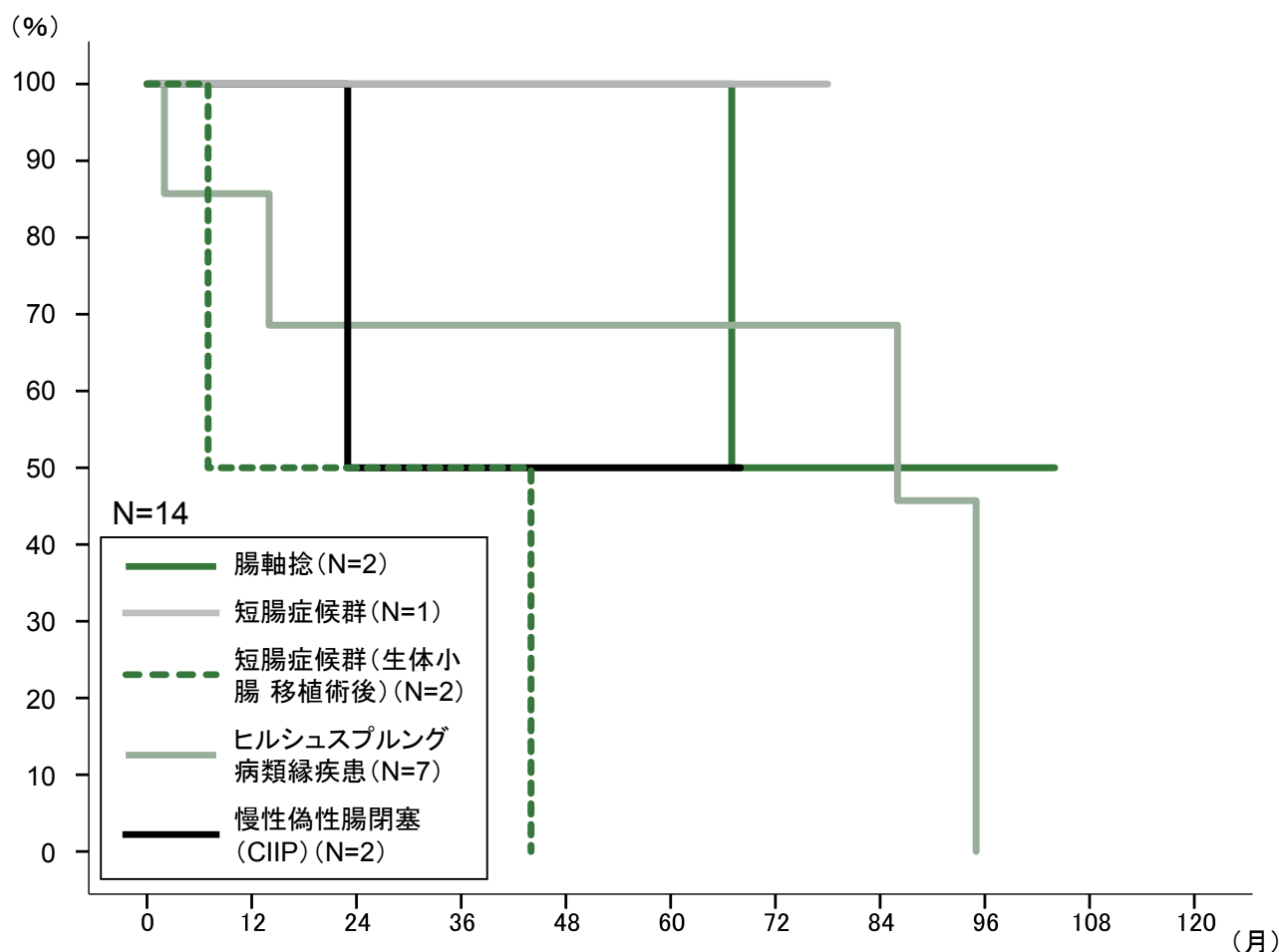


レシピエント原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
腸軸捻	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%
短腸症候群	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
短腸症候群 (生体小腸移植術後)	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-	-
ヒルシュスプルング病類縁疾患	85.7%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	-
慢性偽性腸閉塞 (CIIP)	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-

小腸移植14件のレシピエント原疾患別の生存率は、それぞれ2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.24
小腸移植
レシピエント原疾患 生着率



レシピエント原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
腸軸捻	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%
短腸症候群	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
短腸症候群 (生体小腸移植術後)	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ヒルシュスプルング病類縁疾患	85.7%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	0.0%
慢性偽性腸閉塞 (CIIP)	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-

小腸移植14件のレシピエント原疾患別の生着率は、それぞれ2群間の有意差は認められなかった。

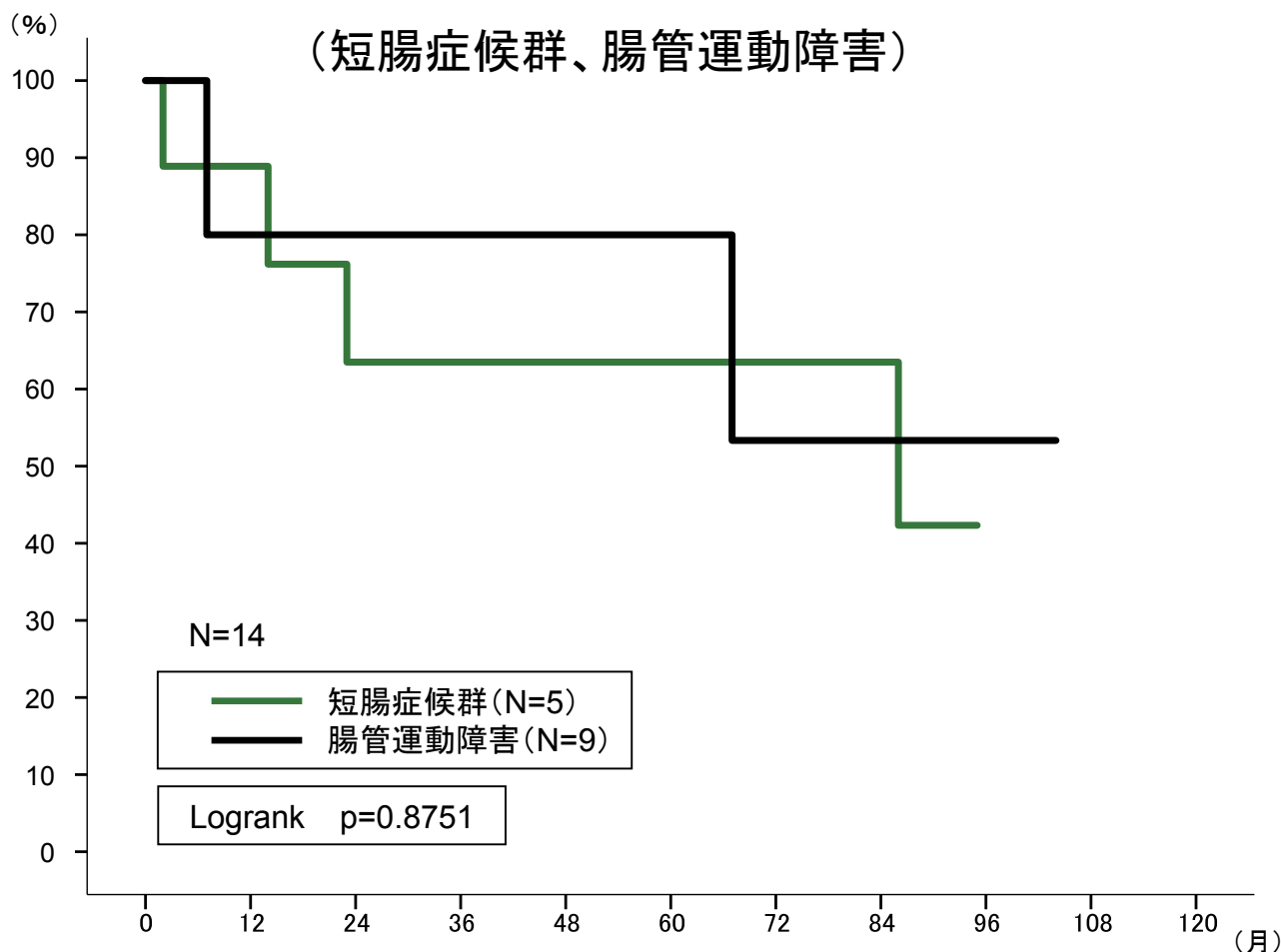


図・表 14.25

小腸移植

レシピエント原疾患 生存率

(短腸症候群、腸管運動障害)



レシピエント原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
短腸症候群	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	53.3%	53.3%	53.3%
腸管運動障害	88.9%	63.5%	63.5%	63.5%	63.5%	63.5%	42.3%	-

小腸移植14件のレシピエント原疾患別(2分類)の5年生存率は、短腸症候群で80.0%、腸管運動障害で63.5%であり、2群間の有意差は認められなかった。

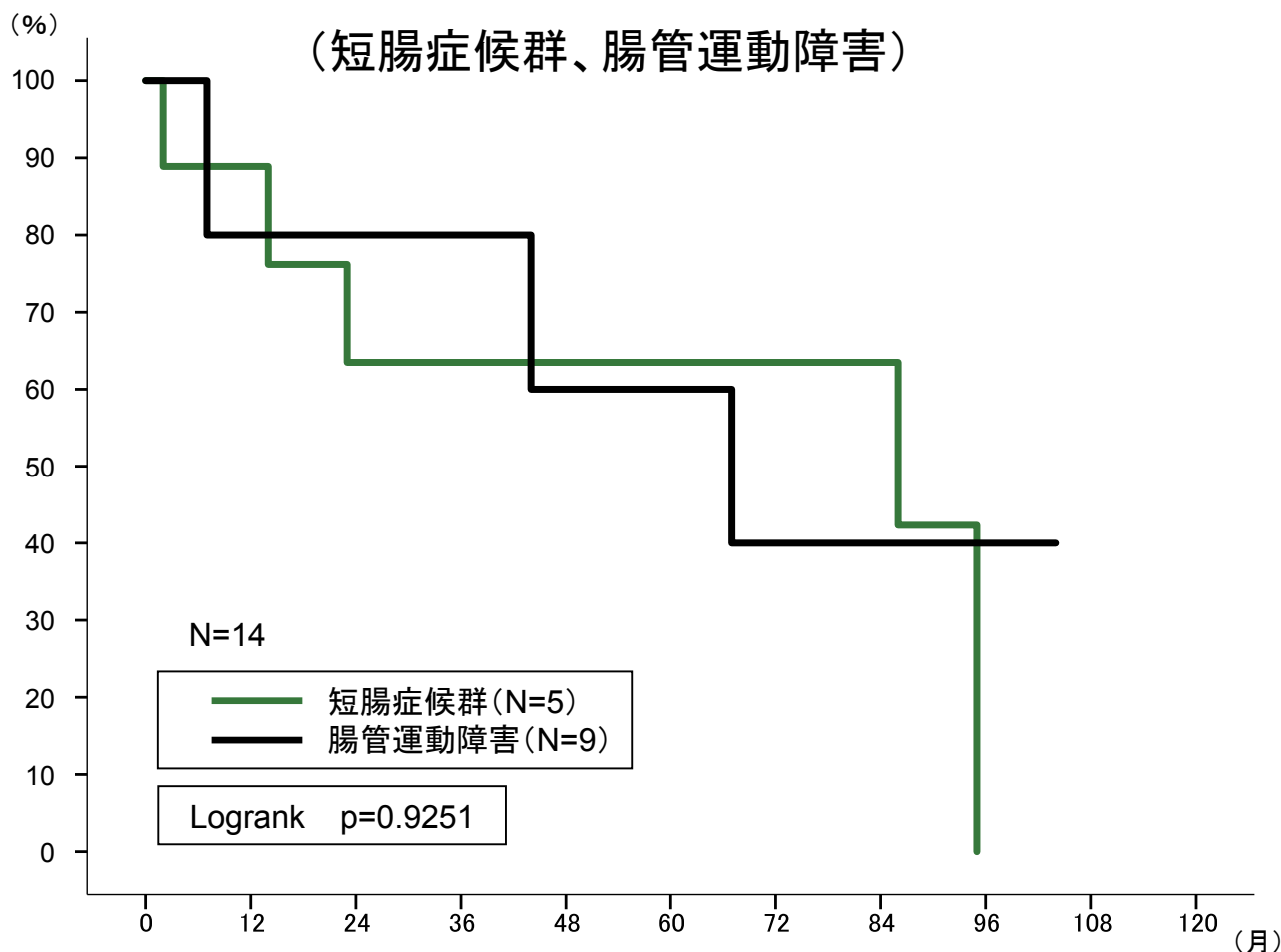


図・表 14.26

小腸移植

レシピエント原疾患 生着率

(短腸症候群、腸管運動障害)



レシピエント原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
短腸症候群	80.0%	80.0%	80.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%
腸管運動障害	88.9%	63.5%	63.5%	63.5%	63.5%	63.5%	42.3%	-

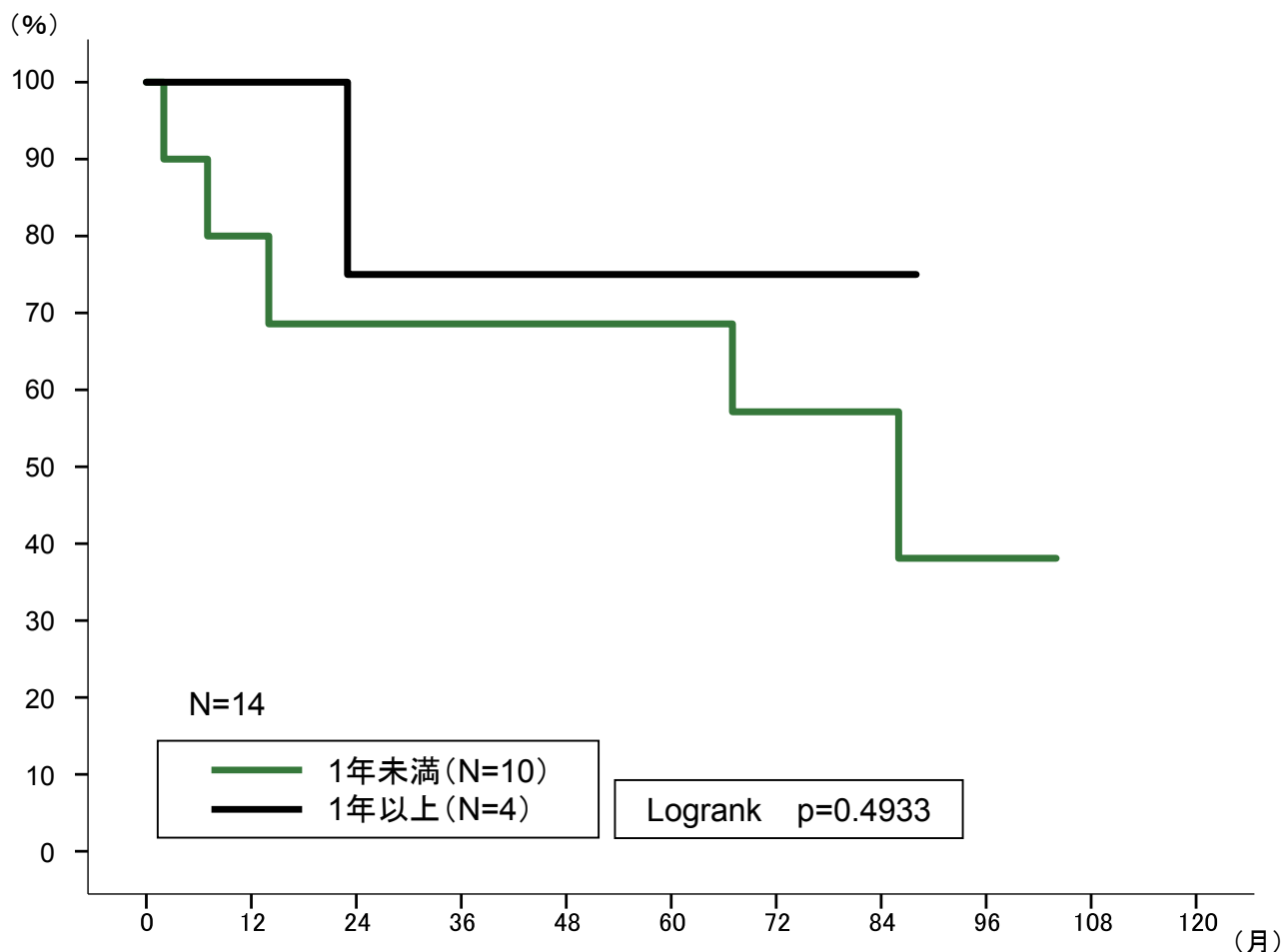
小腸移植14件のレシピエント原疾患別(2分類)の5年生着率は、短腸症候群で60.0%、腸管運動障害で63.5%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.27

小腸移植

レシピエント待機期間 生存率



待機期間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
1年未満	80.0%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	57.1%	57.1%	38.1%
1年以上	100.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	-

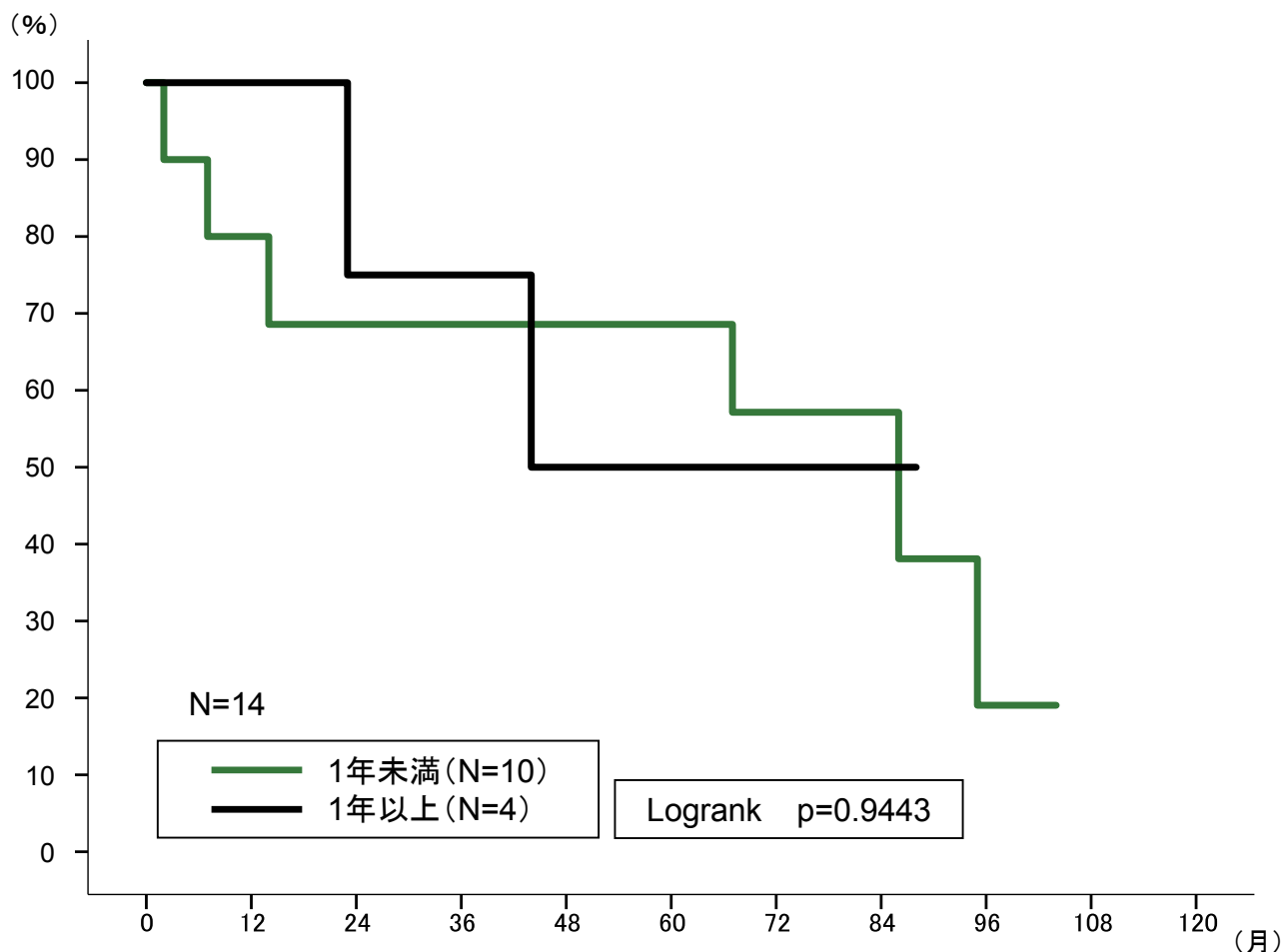
小腸移植14件のレシピエント待機期間別の5年生存率は、1年未満で68.6%、1年以上で75.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.28

小腸移植

レシピエント待機期間 生着率



待機期間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
1年未満	80.0%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	57.1%	57.1%	38.1%
1年以上	100.0%	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-

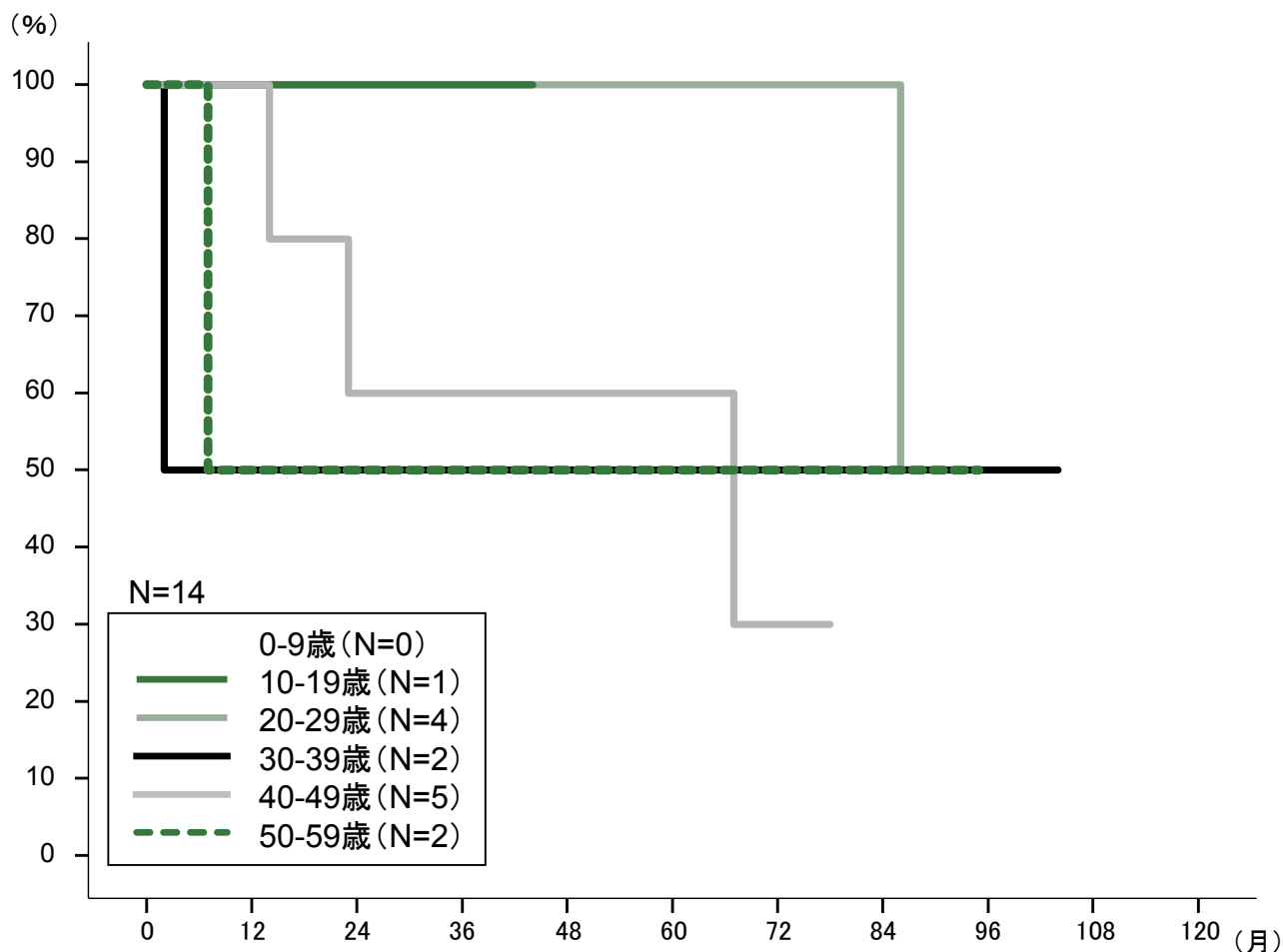
小腸移植14件のレシピエント待機期間別の5年生着率は、1年未満で68.6%、1年以上で50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.29

小腸移植

ドナー年齢(10歳代別) 生存率



ドナー年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-19歳	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-
20-29歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
30-39歳	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
40-49歳	100.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	30.0%	-	-
50-59歳	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-

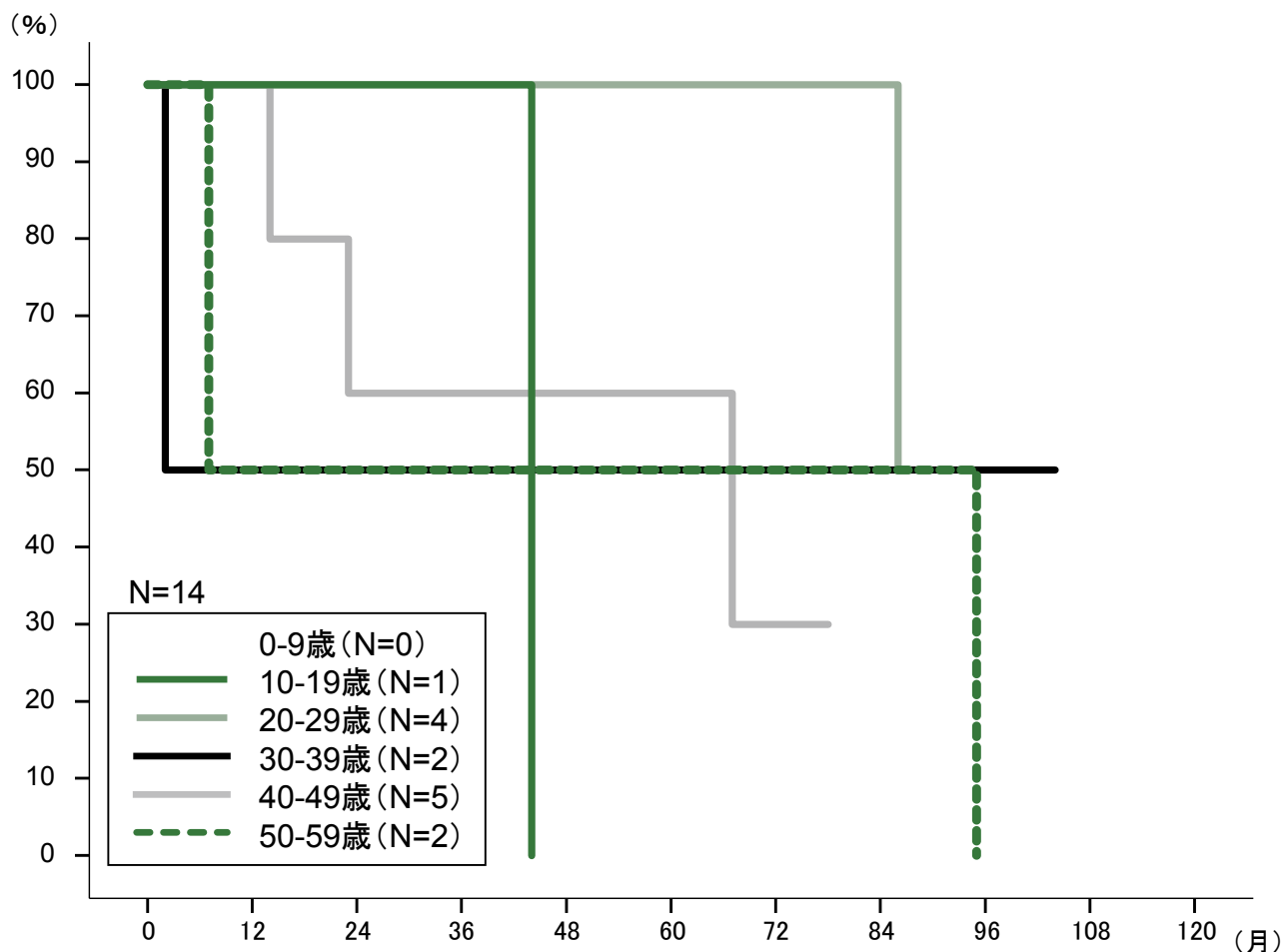
小腸移植14件のドナー年齢(10歳代)別の生存率は、それぞれ2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.30

小腸移植

ドナー年齢(10歳代別) 生着率

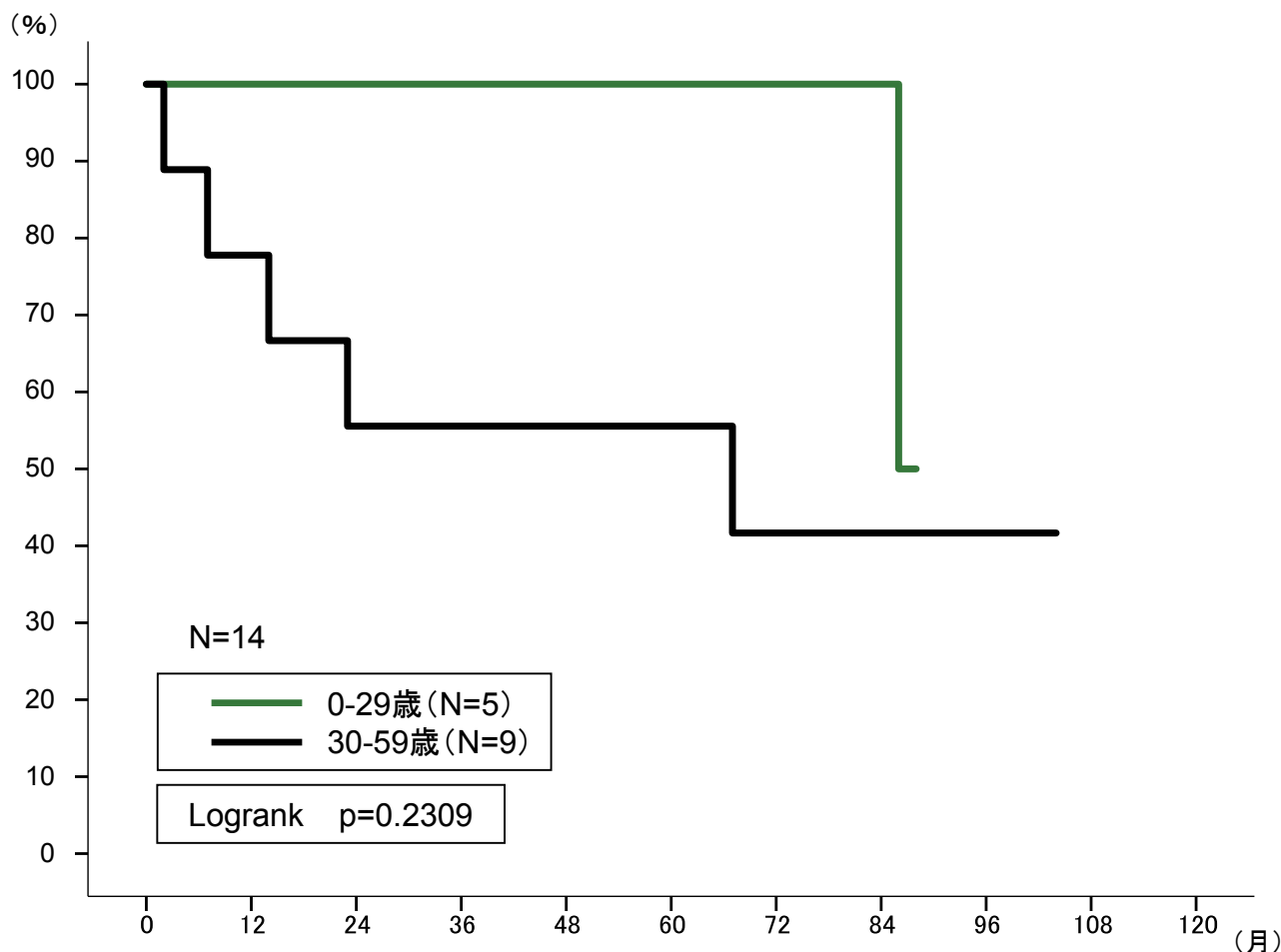


ドナー年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-19歳	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20-29歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
30-39歳	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
40-49歳	100.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	30.0%	-	-
50-59歳	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%

小腸移植14件のドナー年齢(10歳代)別の生着率は、それぞれ2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.31
 小腸移植
 ドナー年齢(30歳) 生存率

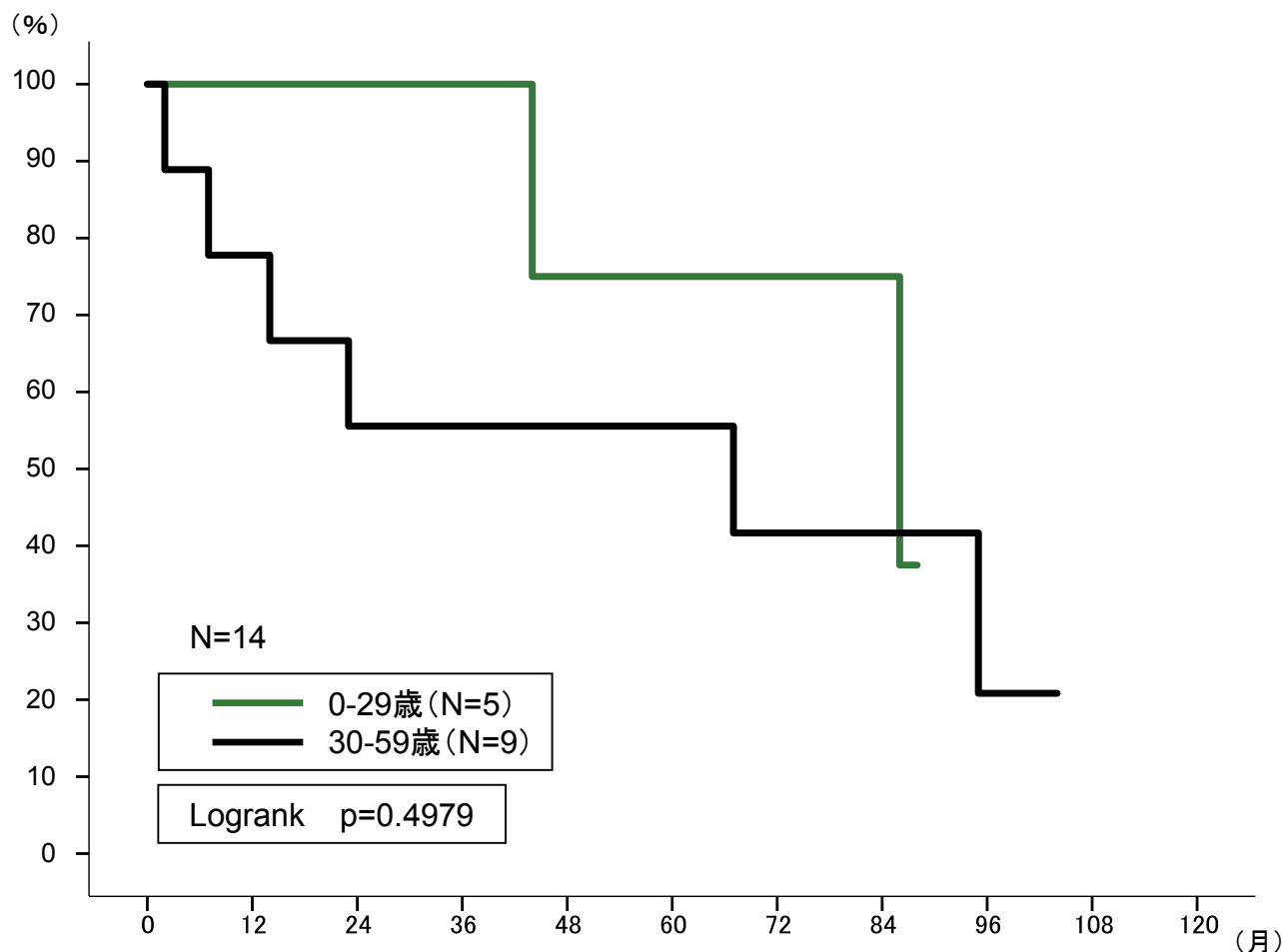


ドナー年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-29歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
30-59歳	77.8%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	41.7%	41.7%	41.7%

小腸移植14件のドナー年齢(10歳代)別の5年生存率は、0-29歳で100.0%、30-59歳で55.6%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.32 小腸移植 ドナー年齢(30歳) 生着率

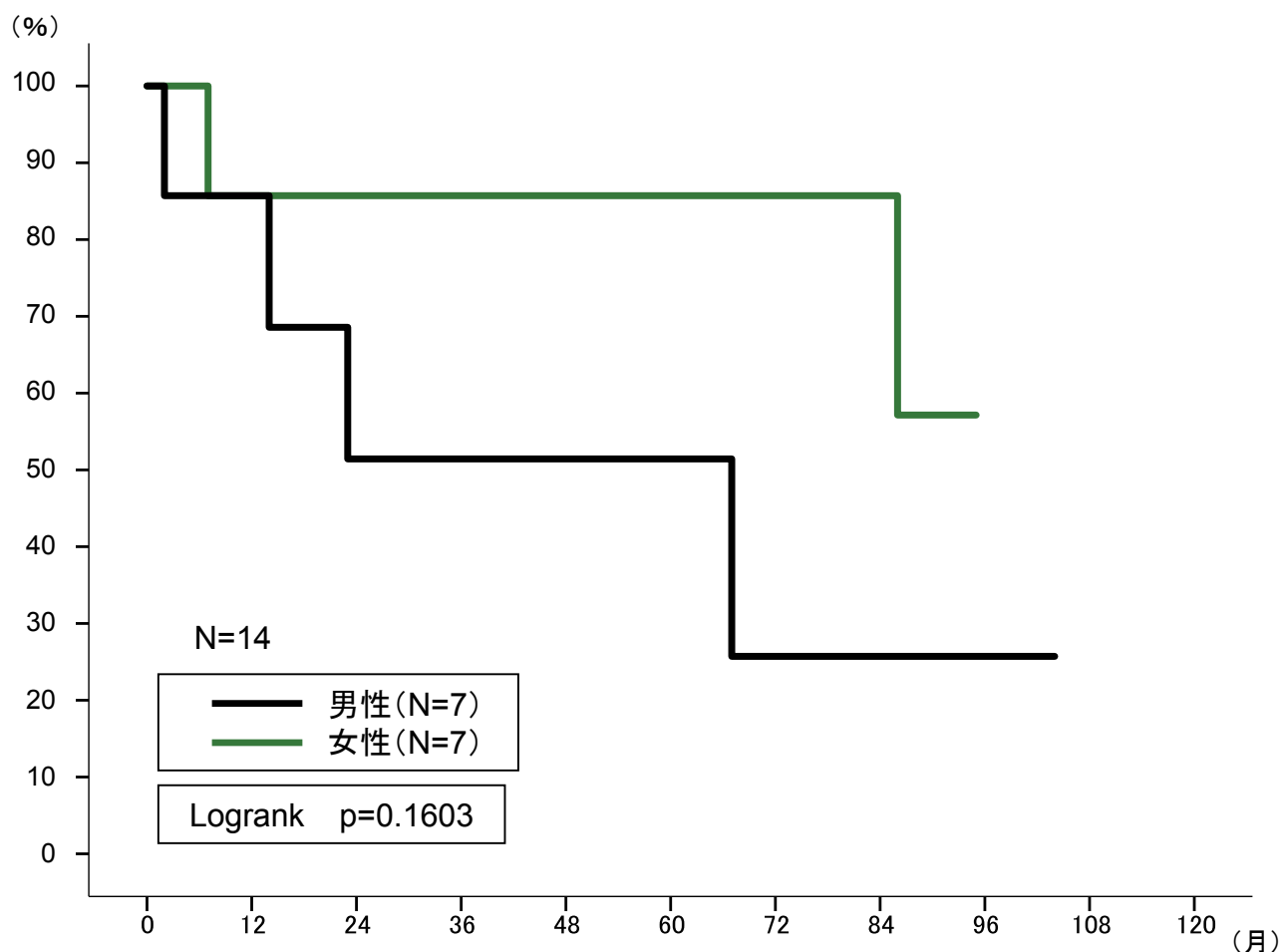


ドナー年齢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0-29歳	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	-
30-59歳	77.8%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	41.7%	41.7%	20.8%

小腸移植14件のドナー年齢(10歳代)別の5年生着率は、0-29歳未満で75.0%、30-59歳で55.6%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.33 小腸移植 ドナー性別 生存率

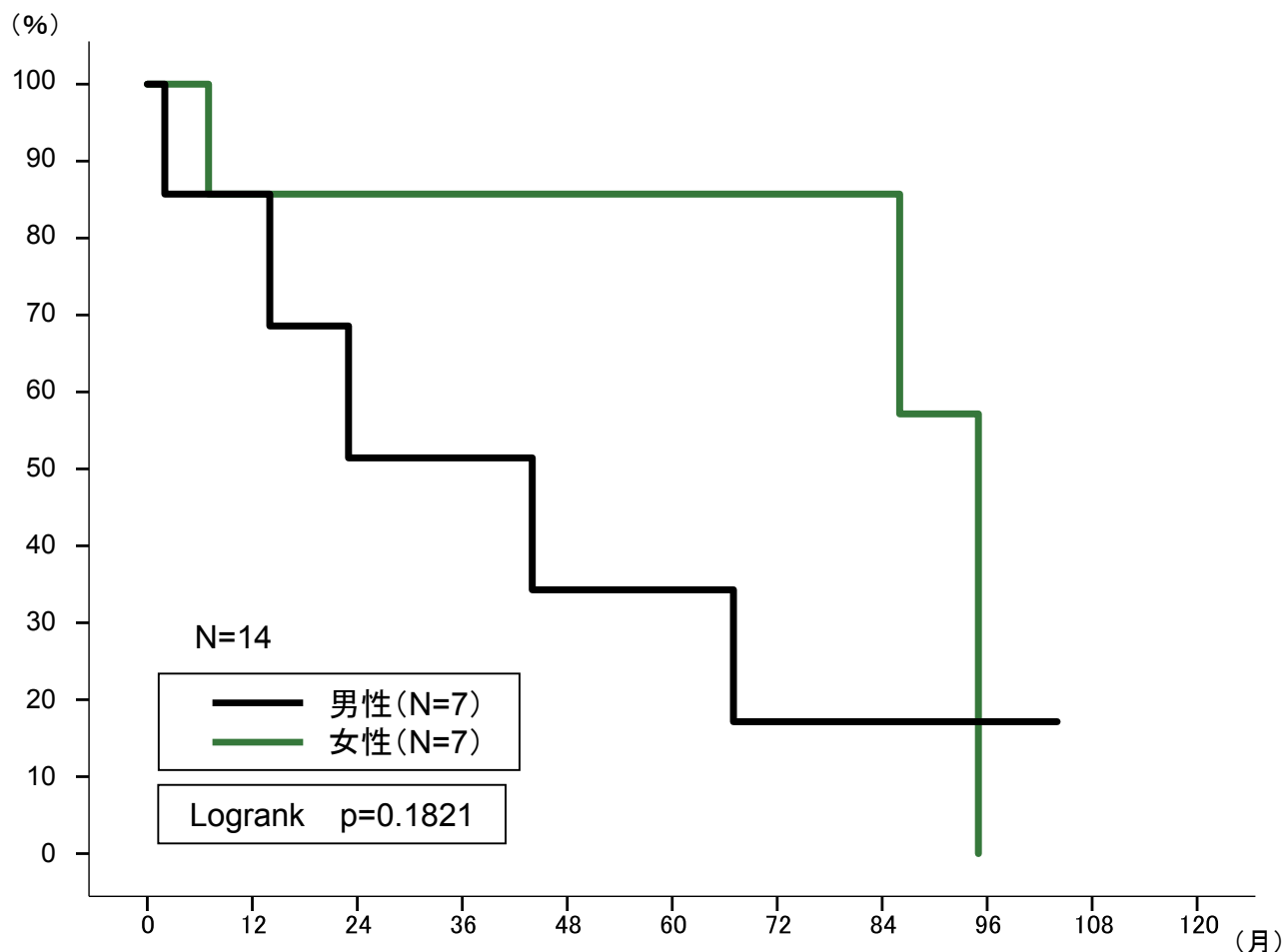


ドナー性別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
男性	85.7%	51.4%	51.4%	51.4%	51.4%	25.7%	25.7%	25.7%
女性	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	-

小腸移植14件のドナー性別の5年生存率は、男性51.4%、女性85.7%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.34 小腸移植 ドナー性別 生着率

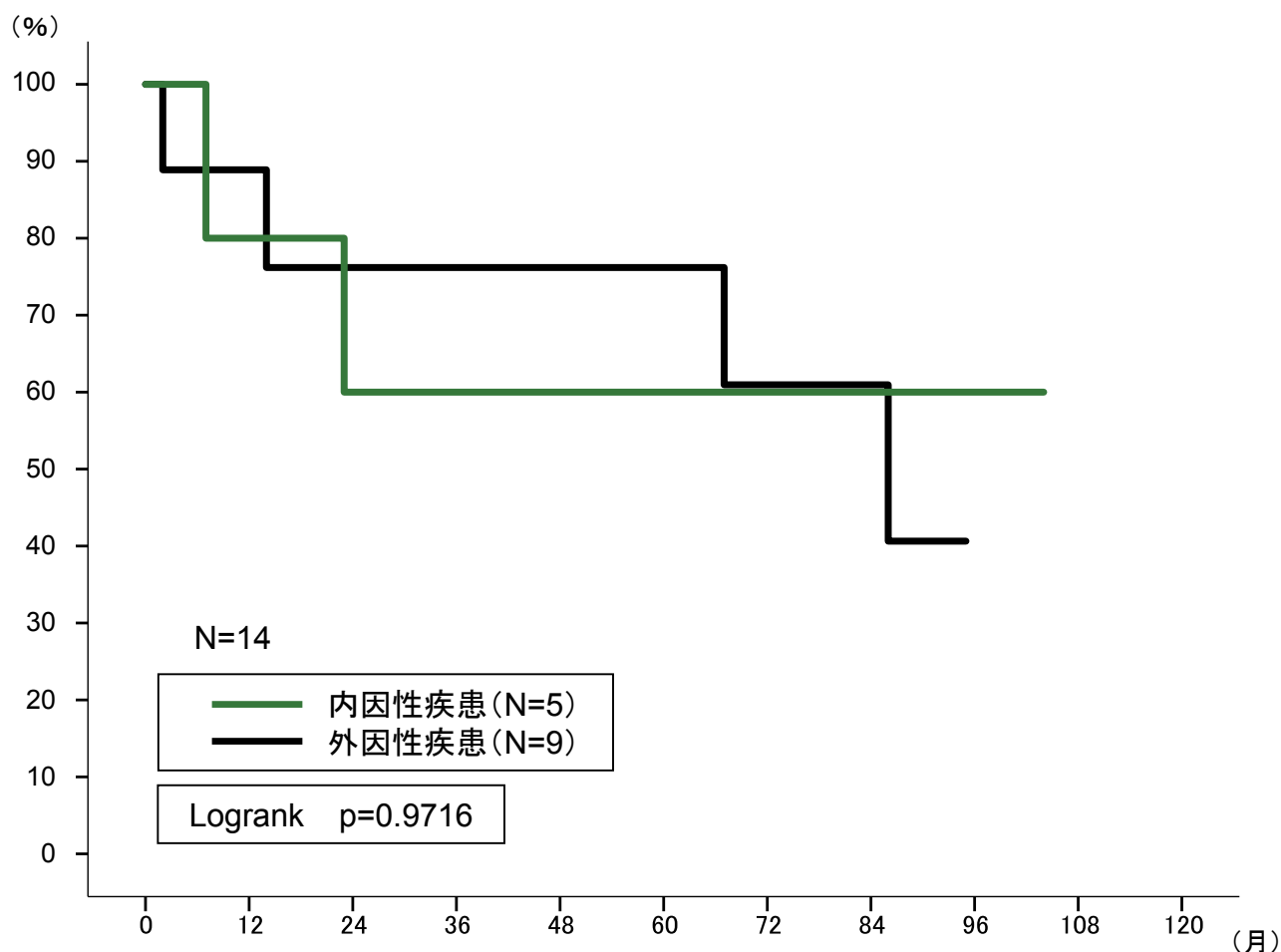


ドナー性別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
男 性	85.7%	51.4%	51.4%	34.3%	34.3%	17.1%	17.1%	17.1%
女 性	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	0.0%

小腸移植14件のドナー性別の5年生着率は、男性34.3%、女性85.7%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.35
 小腸移植
 ドナー原疾患 生存率

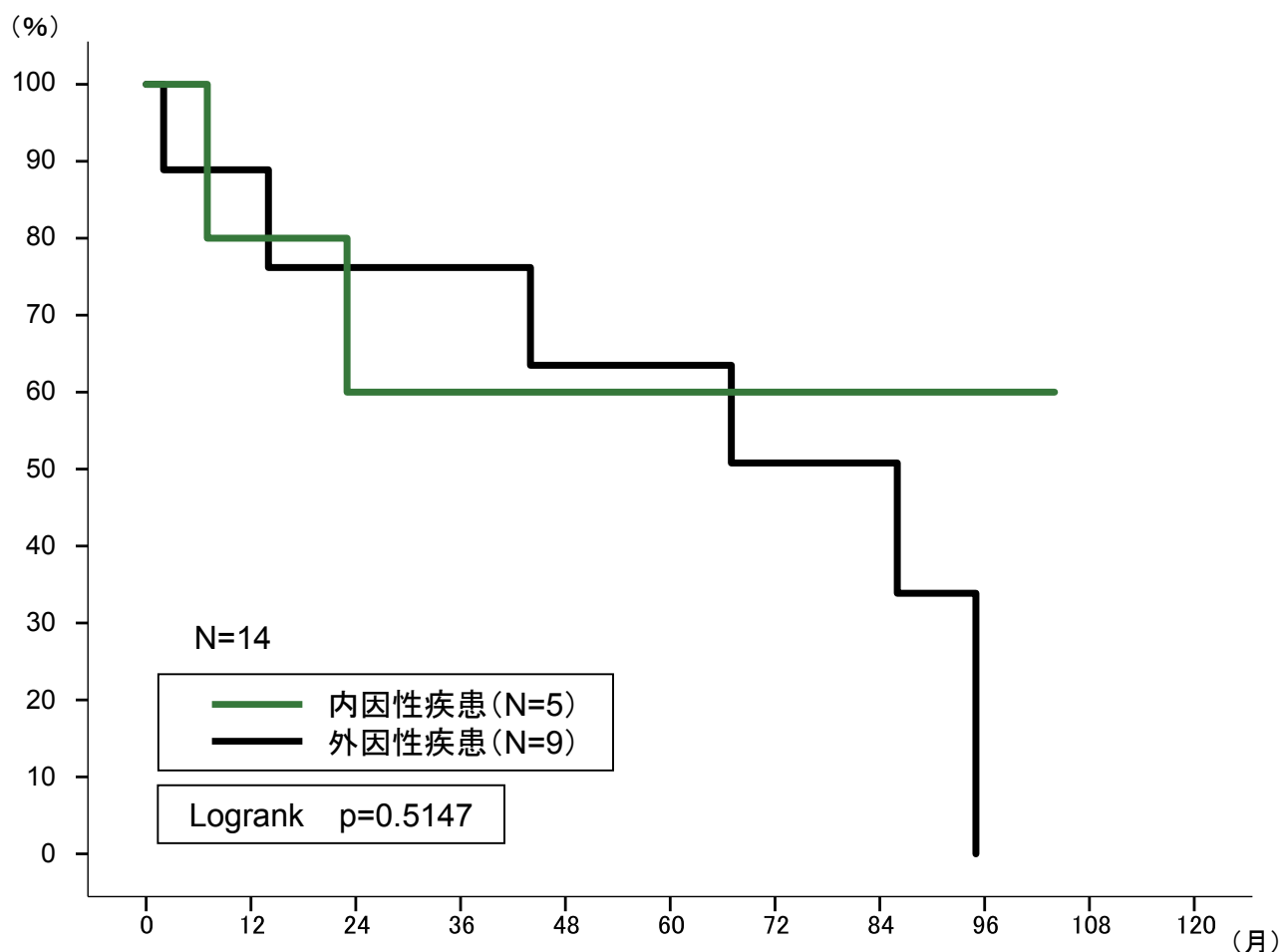


ドナー原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
内因性疾患	80.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
外因性疾患	88.9%	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	61.0%	61.0%	-

小腸移植14件のドナー原疾患別の5年生存率は、内因性疾患で60.0%、外因性疾患で76.2%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.36
 小腸移植
 ドナー原疾患 生着率

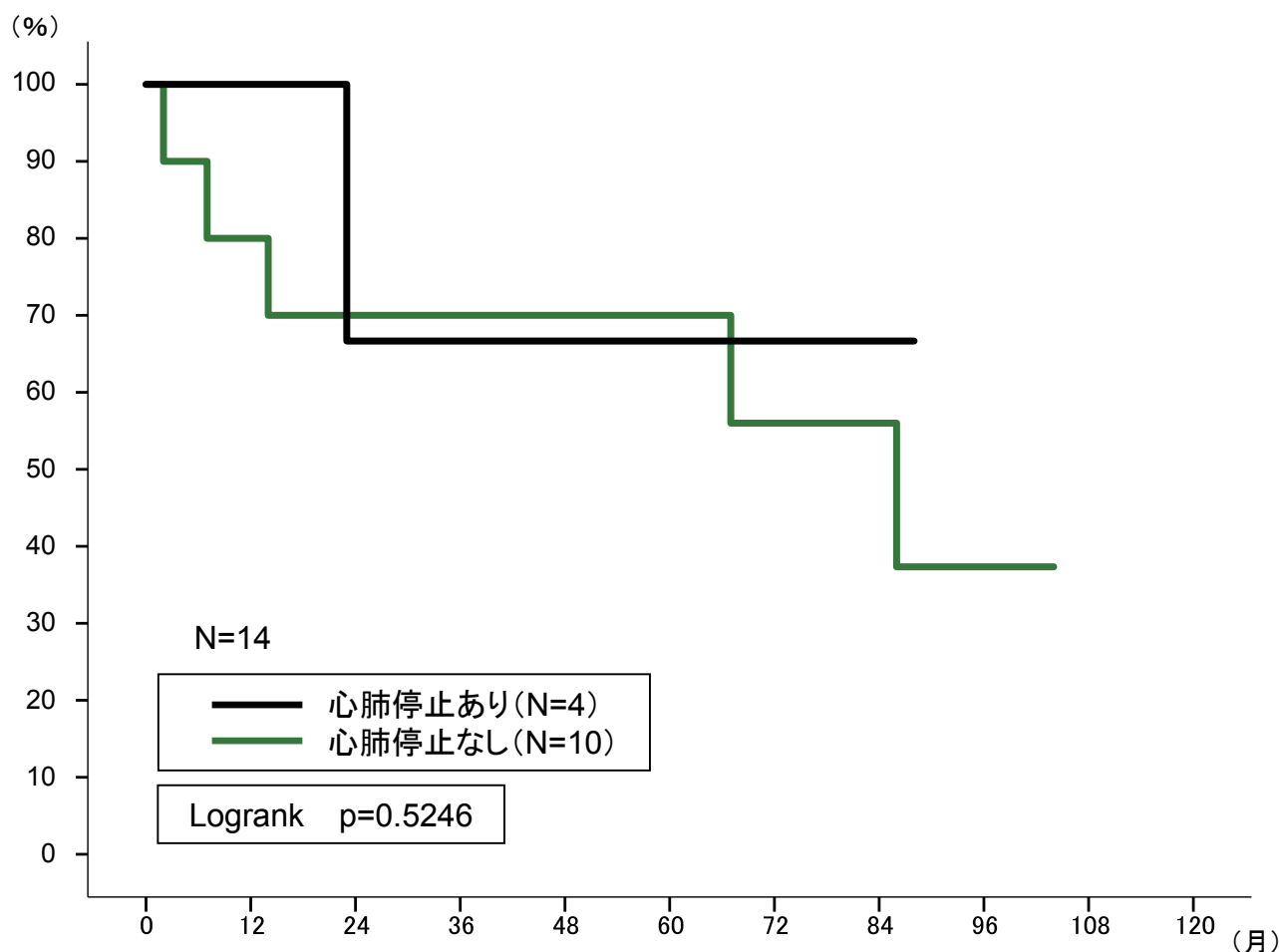


ドナー原疾患	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
内因性疾患	80.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
外因性疾患	88.9%	76.2%	76.2%	63.5%	63.5%	50.8%	50.8%	0.0%

小腸移植14件のドナー原疾患別の5年生着率は、内因性疾患で60.0%、外因性疾患で63.5%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.37 小腸移植 ドナー心肺停止 生存率

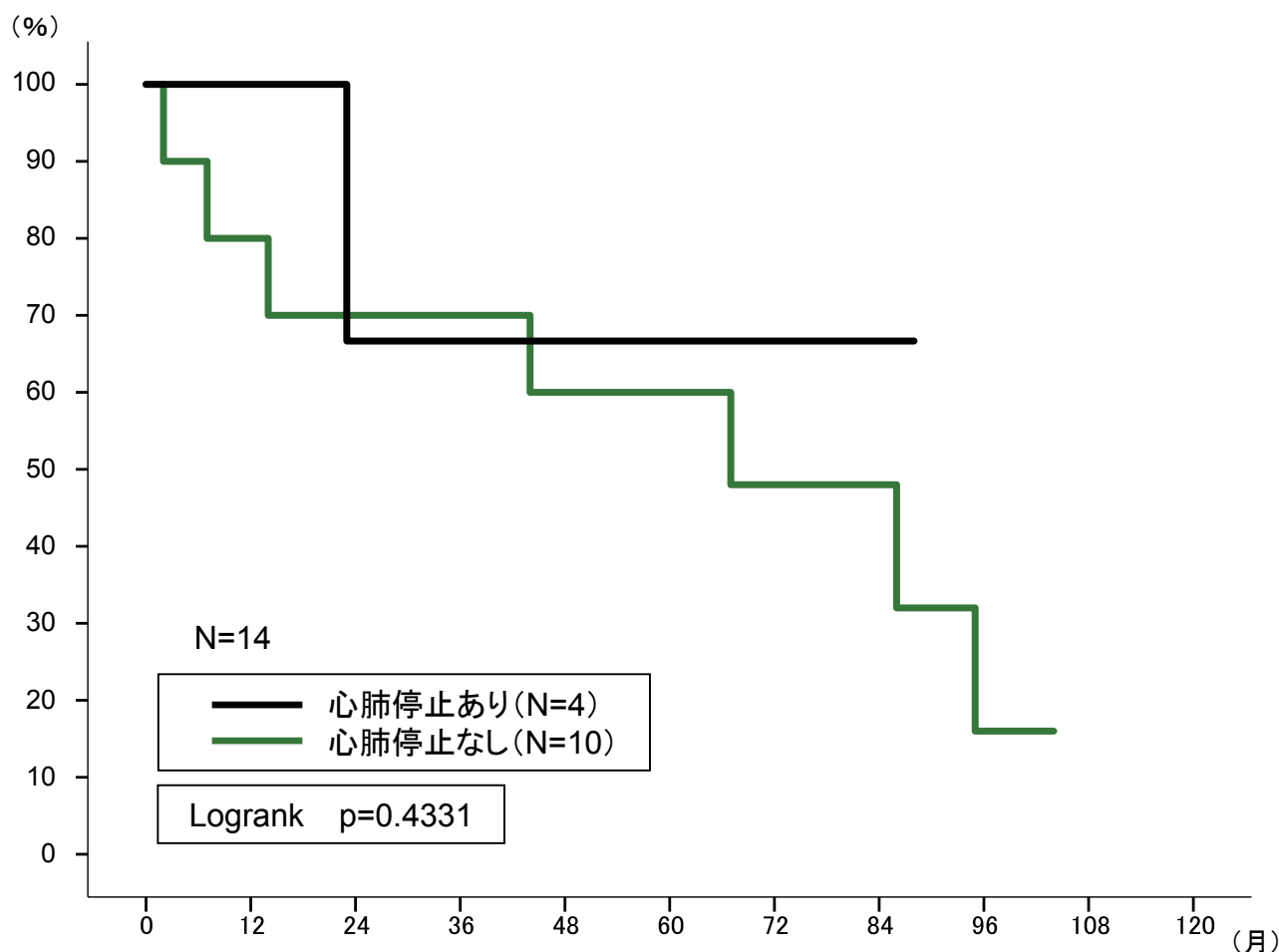


ドナー心肺停止	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
あり	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	-
なし	80.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	56.0%	56.0%	37.3%

小腸移植14件のドナー心肺停止の5年生存率は、心肺停止ありで66.7%、心肺停止なしで70.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.38
 小腸移植
 ドナー心肺停止 生着率

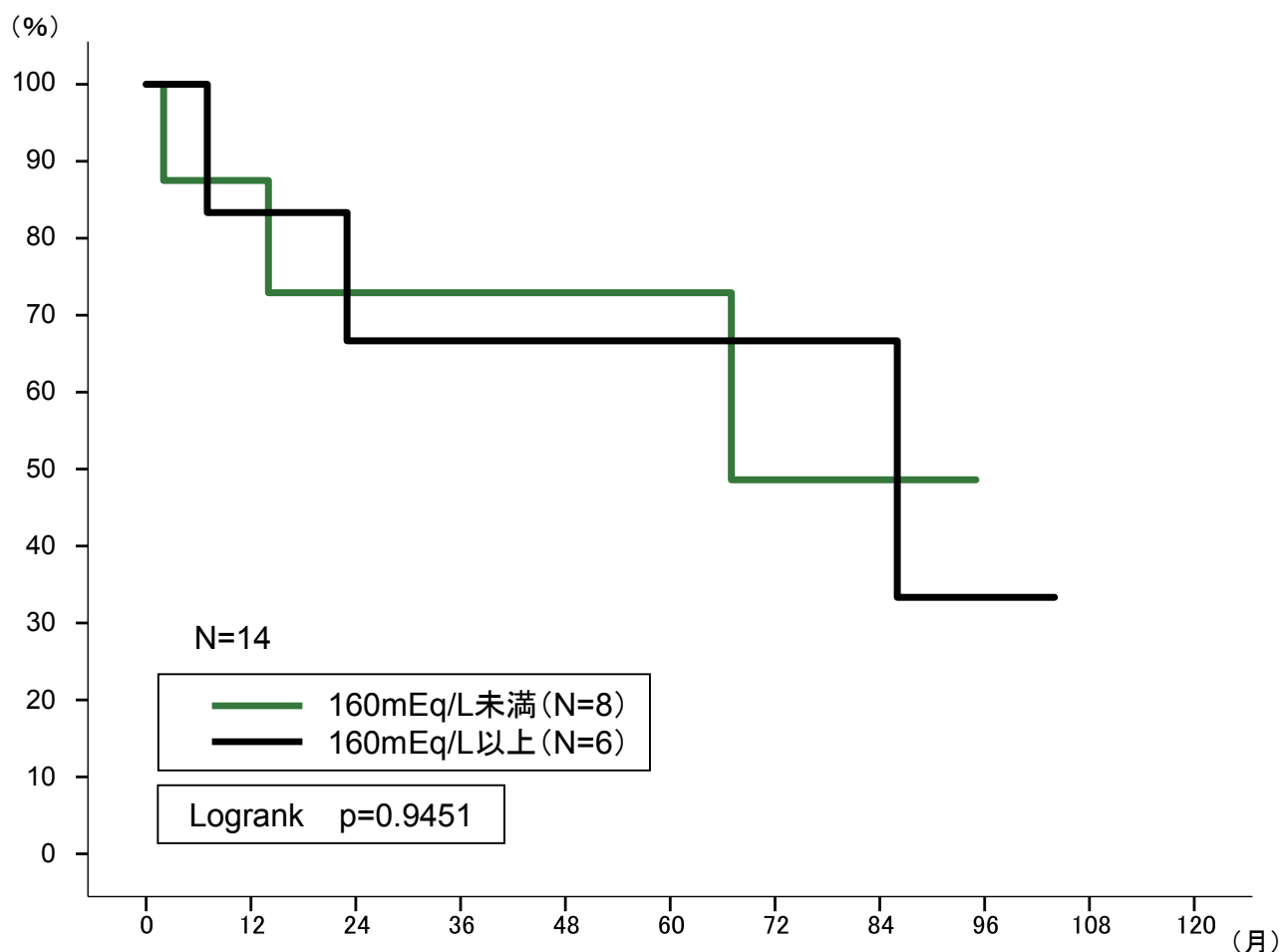


ドナー心肺停止	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
あり	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	-
なし	80.0%	70.0%	70.0%	60.0%	60.0%	48.0%	48.0%	16.0%

小腸移植14件のドナー心肺停止の5年生着率は、心肺停止ありで66.7%、心肺停止なしで60.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.39
 小腸移植
 ドナーNa最高値 生存率

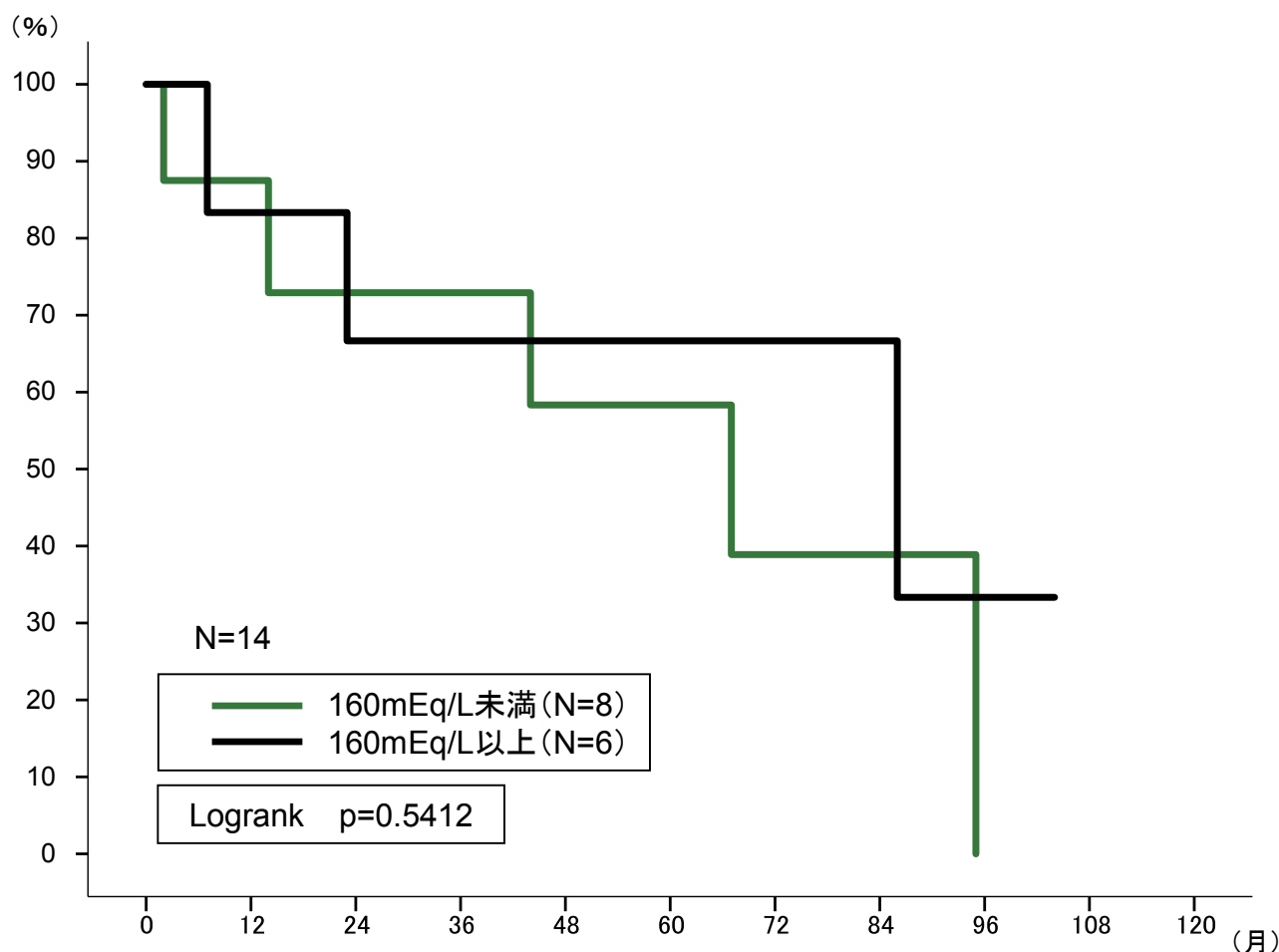


ドナーNa最高値	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
160mEq/L未満	87.5%	72.9%	72.9%	72.9%	72.9%	48.6%	48.6%	-
160mEq/L以上	83.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%

小腸移植14件のドナーNa最高値の5年生存率は、160mEq/L未満で72.9%、160mEq/L以上で66.7%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.40
 小腸移植
 ドナーNa最高値 生着率

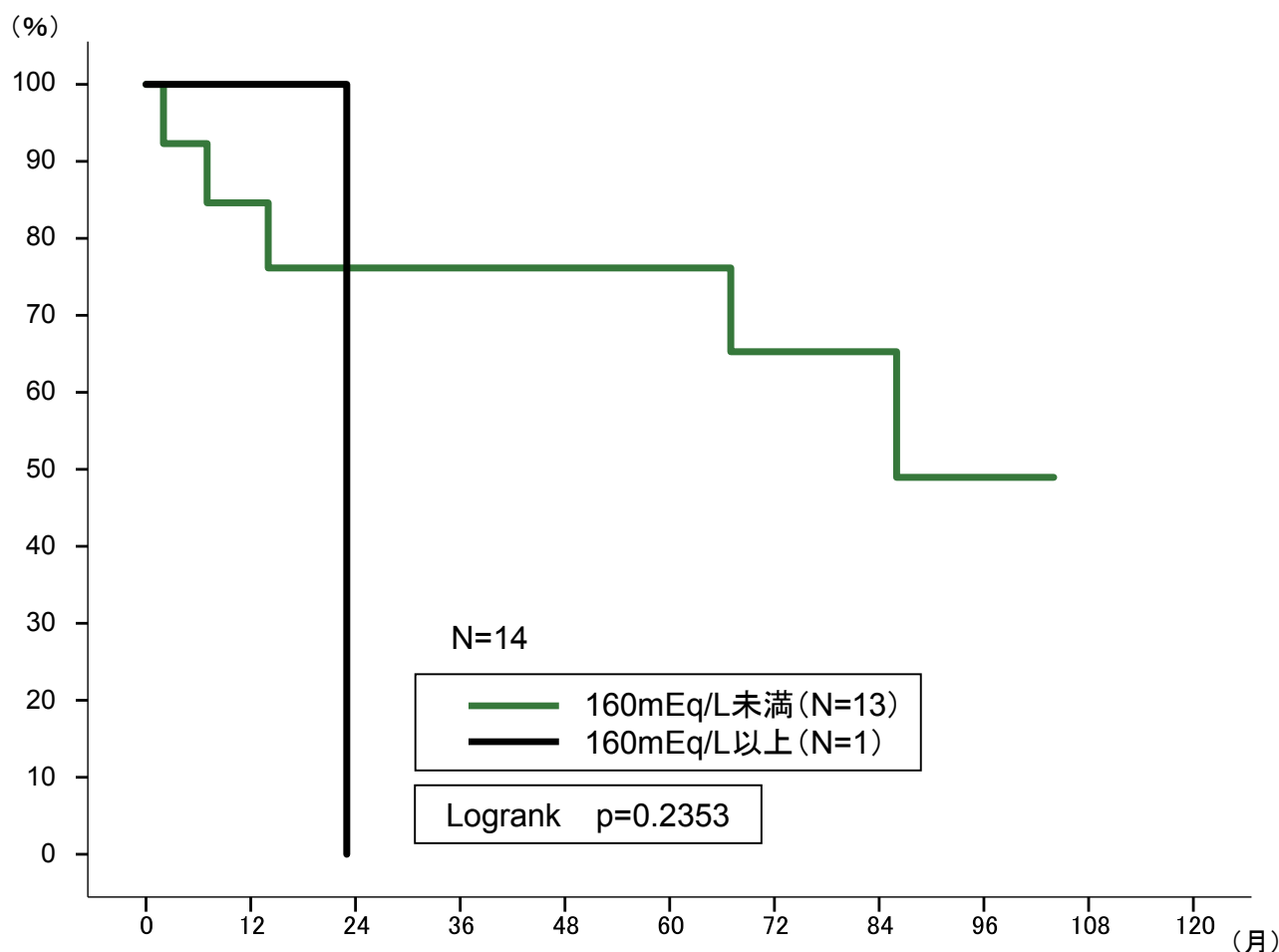


ドナーNa最高値	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
160mEq/L未満	87.5%	72.9%	72.9%	58.3%	58.3%	38.9%	38.9%	-
160mEq/L以上	83.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%

小腸移植14件のドナーNa最高値の5年生着率は、160mEq/L未満で58.3%、160mEq/L以上で66.7%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.41
 小腸移植
 ドナーNa最終値 生存率

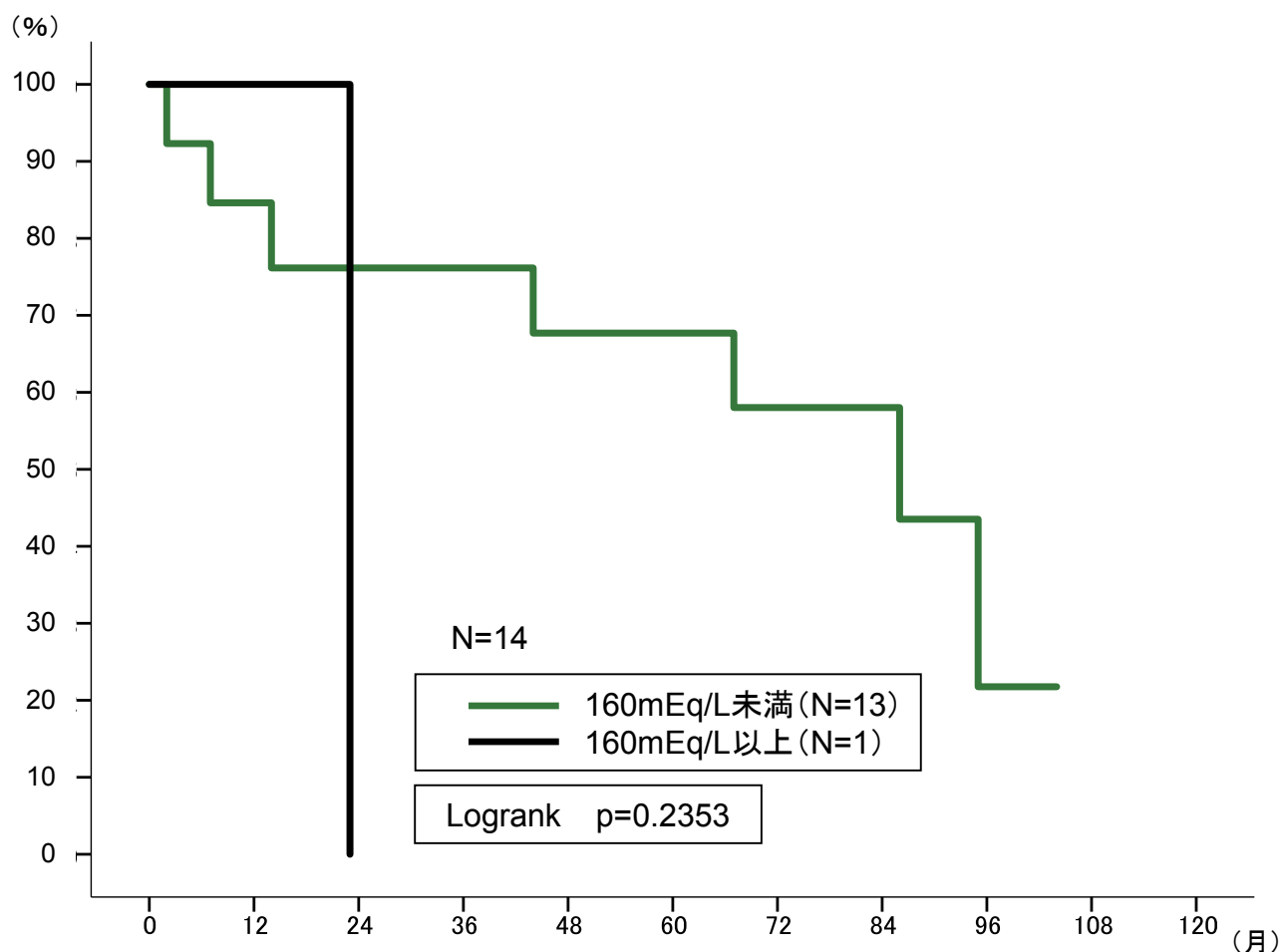


ドナーNa最終値	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
160mEq/L未満	84.6%	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	65.3%	65.3%	49.0%
160mEq/L以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小腸移植14件のドナーNa最終値の5年生存率は、160mEq/L未満で76.2%、160mEq/L以上で0.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.42
 小腸移植
 ドナーNa最終値 生着率

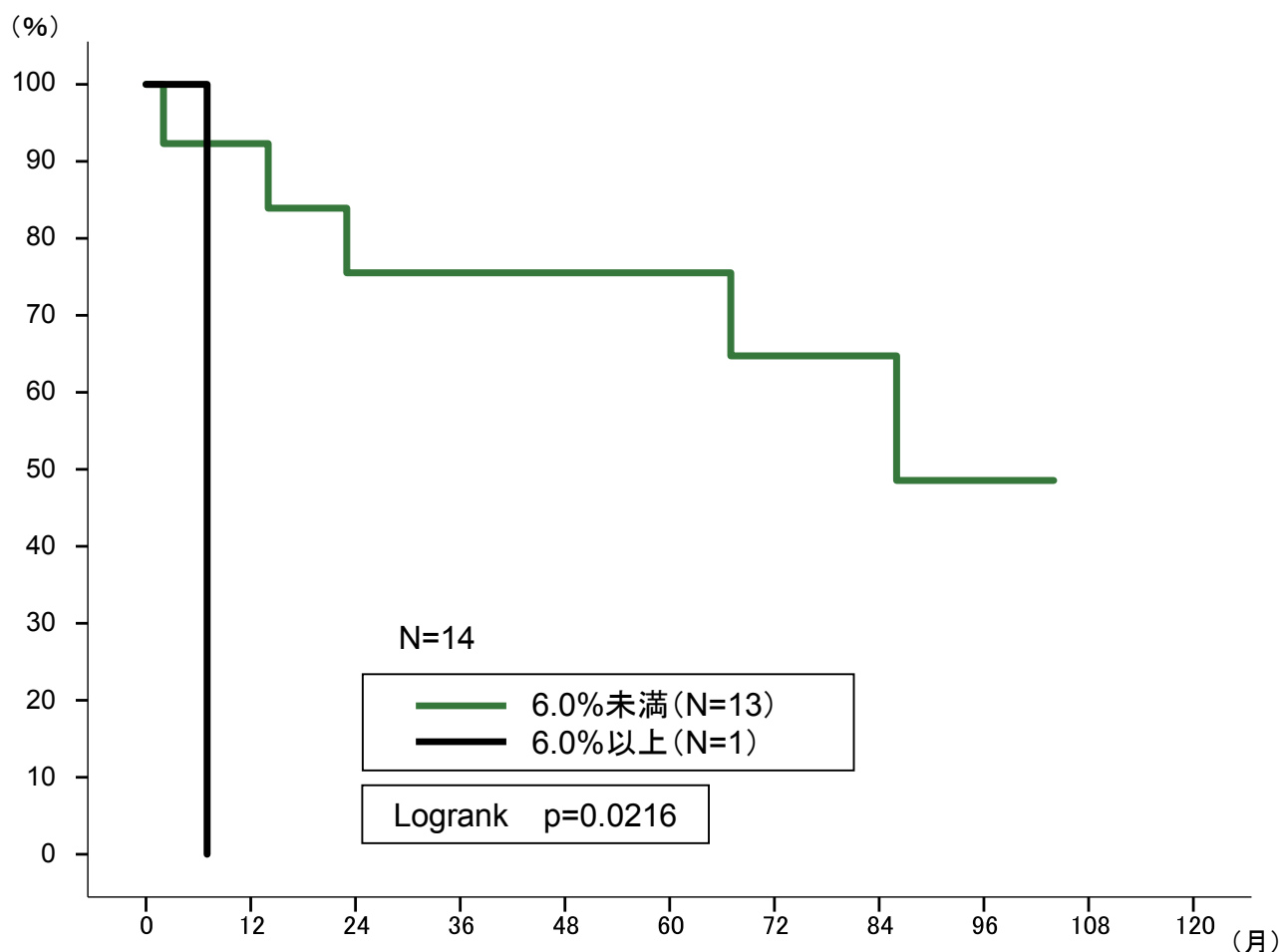


ドナーNa最終値	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
160mEq/L未満	84.6%	76.2%	76.2%	67.7%	67.7%	58.0%	58.0%	21.8%
160mEq/L以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小腸移植14件のドナーNa最終値の5年生着率は、160mEq/L未満で67.7%、160mEq/L以上で0.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.43
 小腸移植
 ドナーHbA1c 生存率

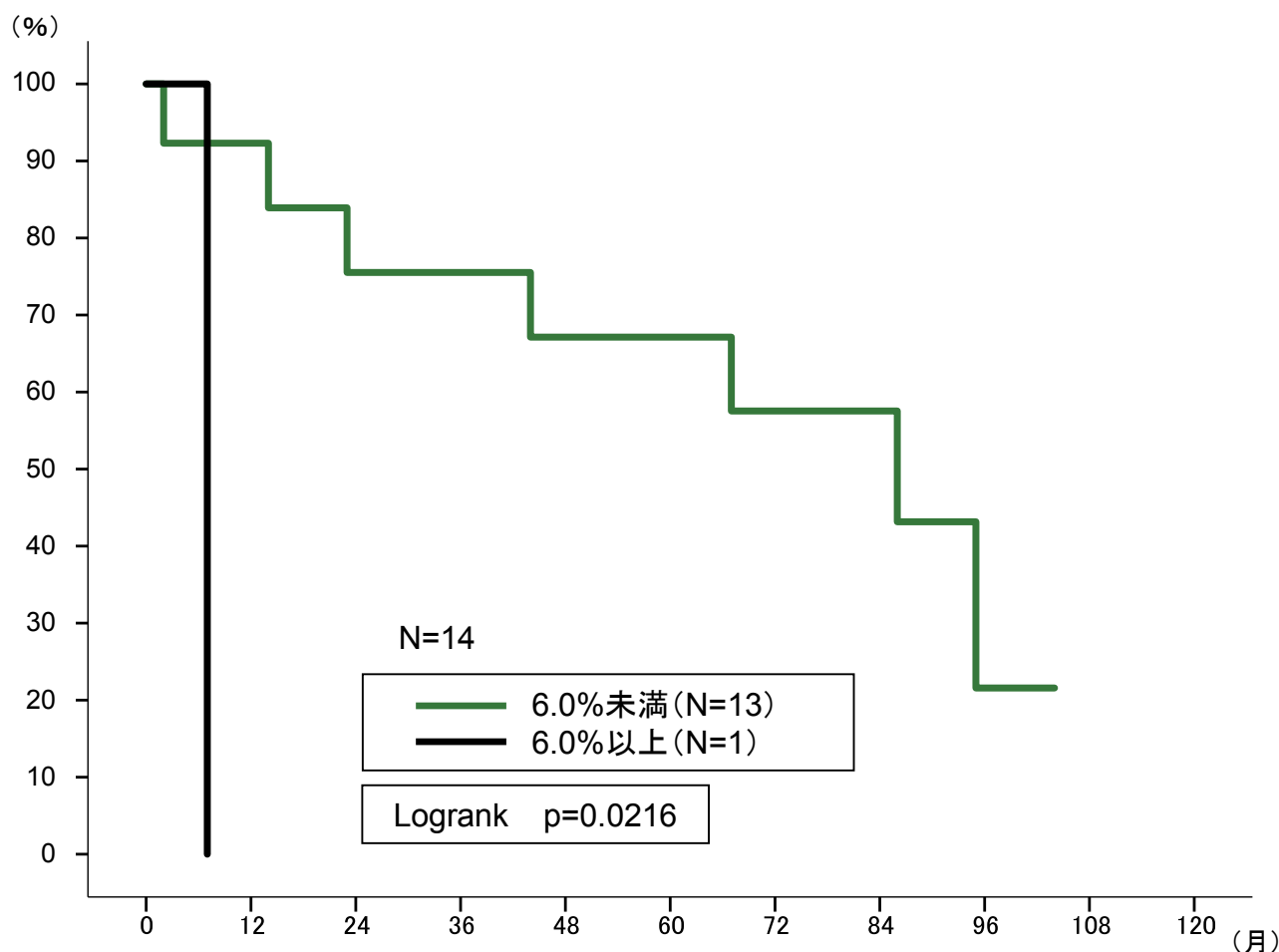


ドナーHbA1c	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
6.0%未満	92.3%	75.5%	75.5%	75.5%	75.5%	64.7%	64.7%	48.6%
6.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小腸移植14件のドナーHbA1cの5年生存率は、6.0%未満で75.5%、6.0%以上で0.0%であり、2群間の有意差が認められた。



図・表 14.44
 小腸移植
 ドナーHbA1c 生着率

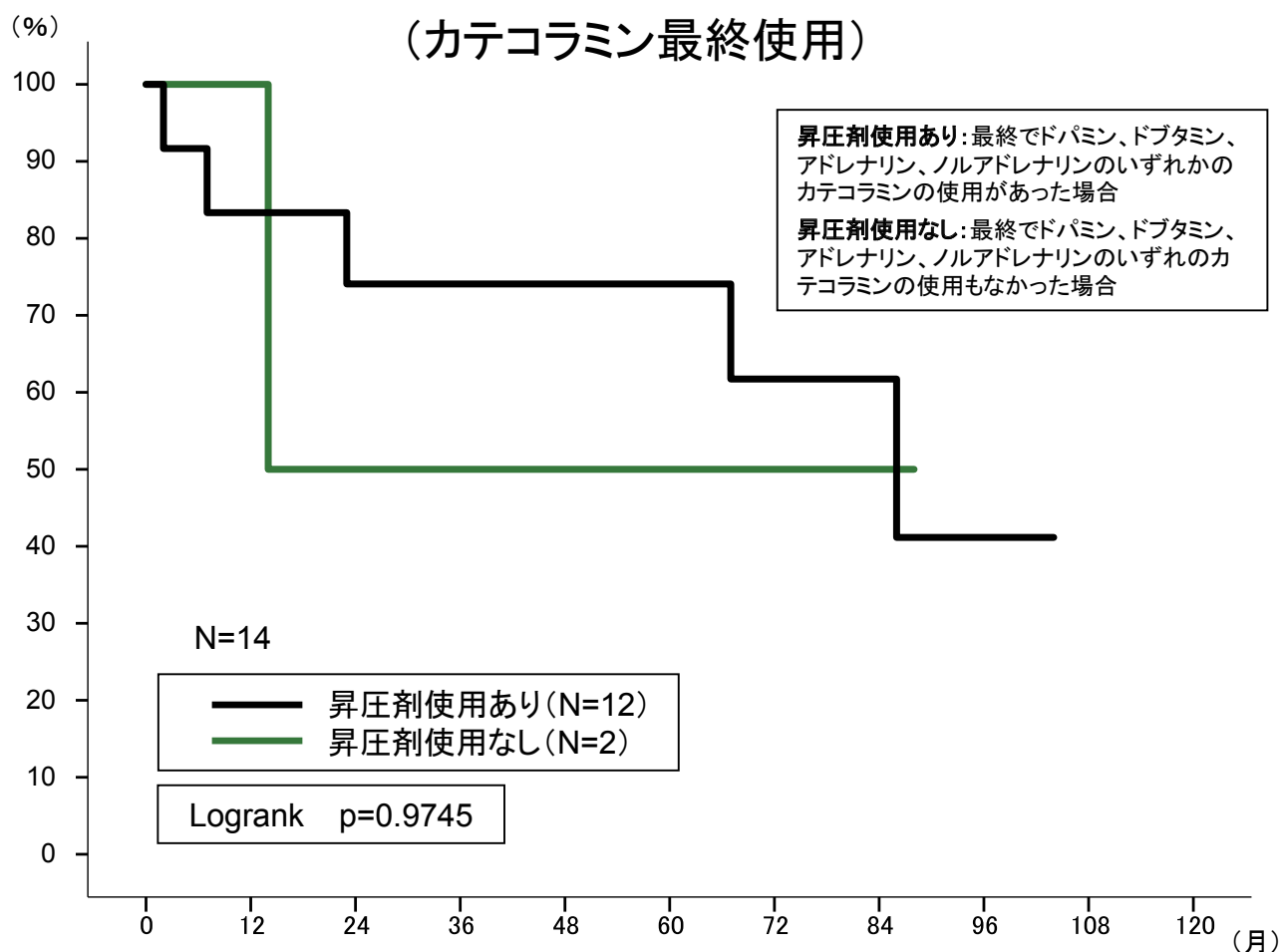


ドナーHbA1c	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
6.0%未満	92.3%	75.5%	75.5%	67.1%	67.1%	57.5%	57.5%	21.6%
6.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小腸移植14件のドナーHbA1cの5年生着率は、6.0%未満で67.1%、6.0%以上で0.0%であり、2群間の有意差が認められた。



図・表 14.45
 小腸移植
 ドナー昇圧剤 生存率
 (カテコラミン最終使用)

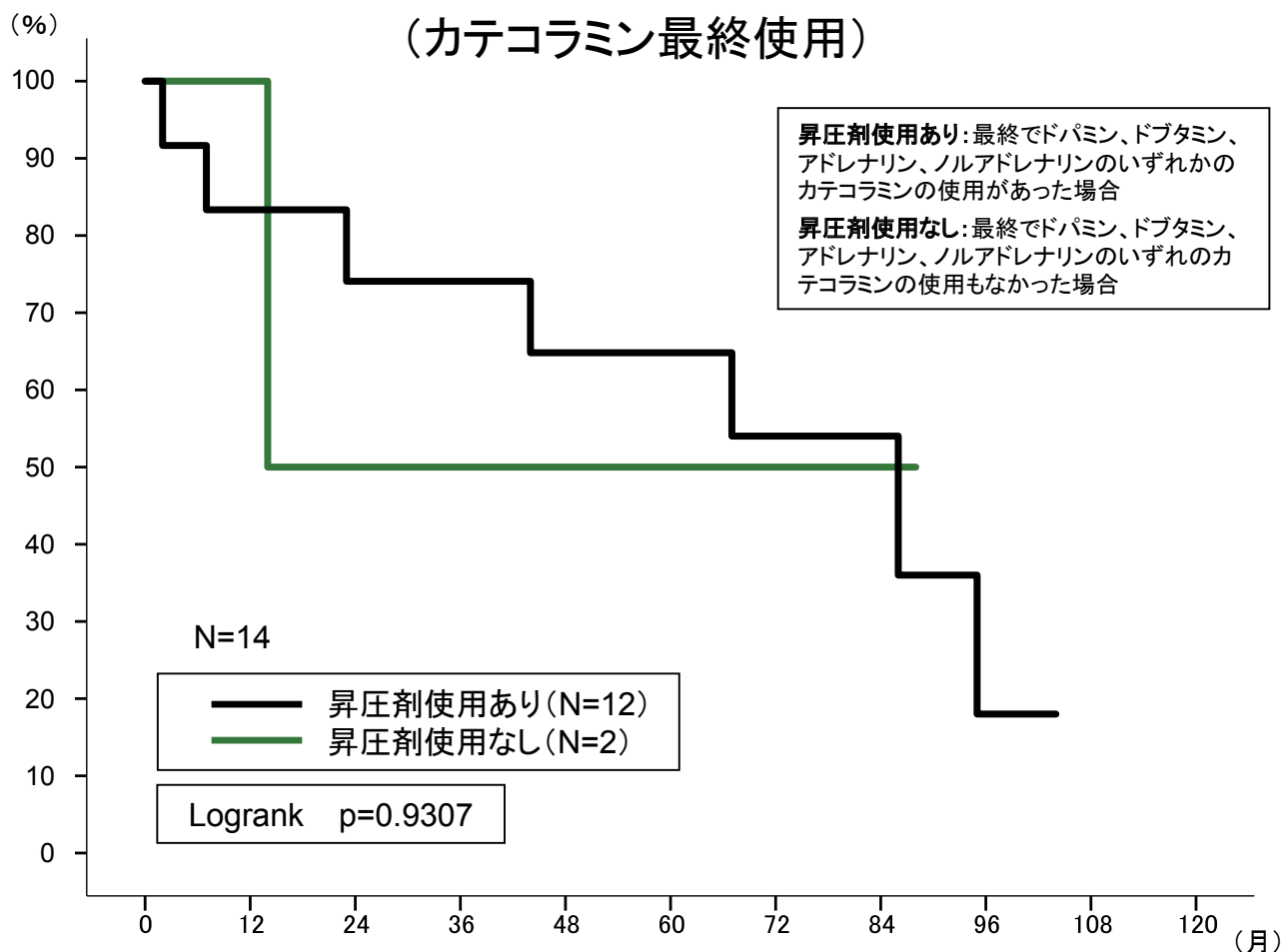


ドナー昇圧剤	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
使用あり	83.3%	74.1%	74.1%	74.1%	74.1%	61.7%	61.7%	41.2%
使用なし	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-

小腸移植14件のドナーにおける昇圧剤の使用の有無について、5年生存率は、使用ありで74.1%、使用なしで50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.46
 小腸移植
 ドナー昇圧剤 生着率
 (カテコラミン最終使用)



ドナー昇圧剤	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
使用あり	83.3%	74.1%	74.1%	64.8%	64.8%	54.0%	54.0%	18.0%
使用なし	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-

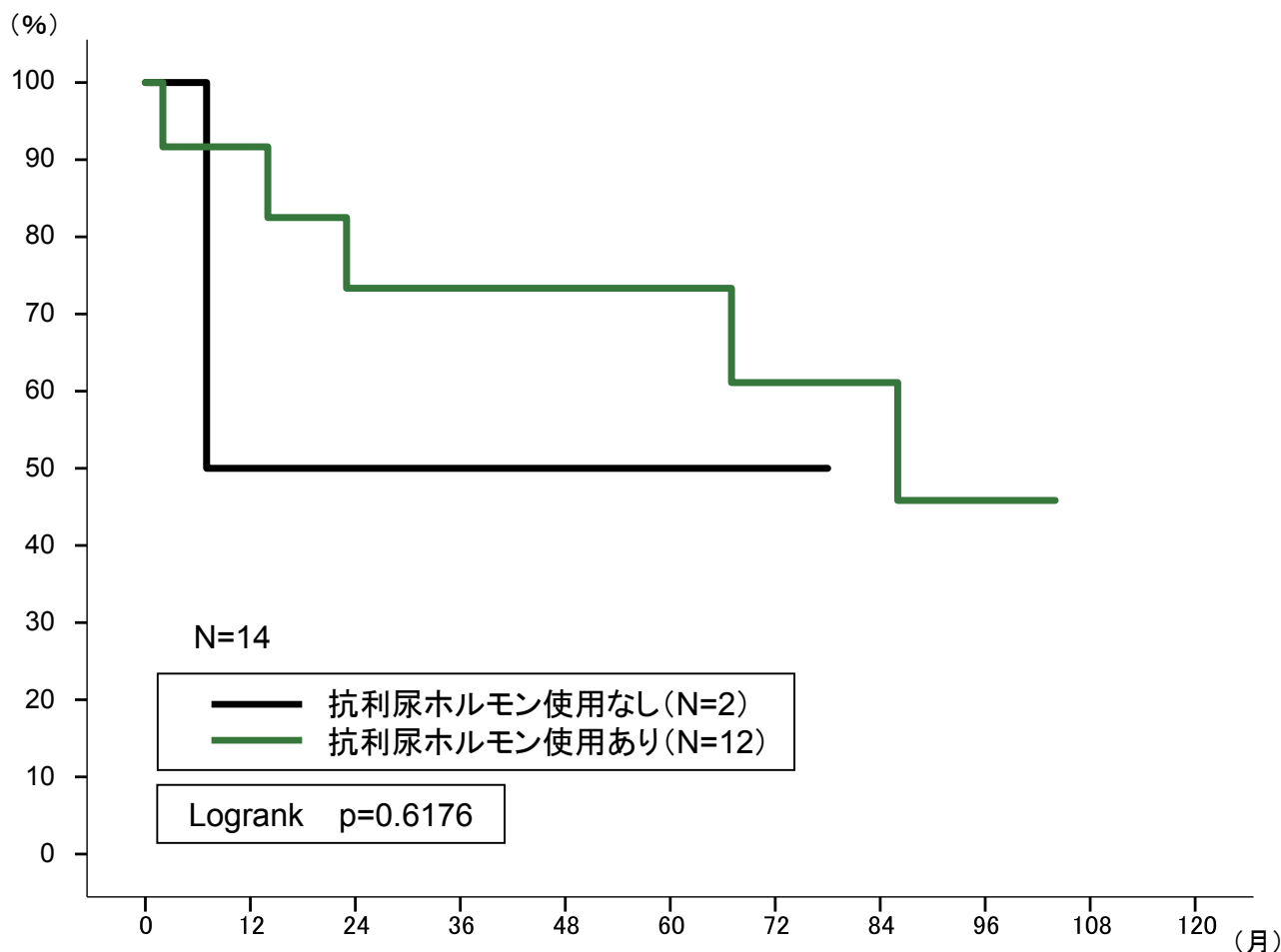
小腸移植14件のドナーにおける昇圧剤の使用の有無について、5年生着率は、使用ありで64.8%、使用なしで50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.47

小腸移植

ドナー抗利尿ホルモン 生存率



抗利尿ホルモン	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
使用あり	91.7%	73.3%	73.3%	73.3%	73.3%	61.1%	61.1%	45.8%
使用なし	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-

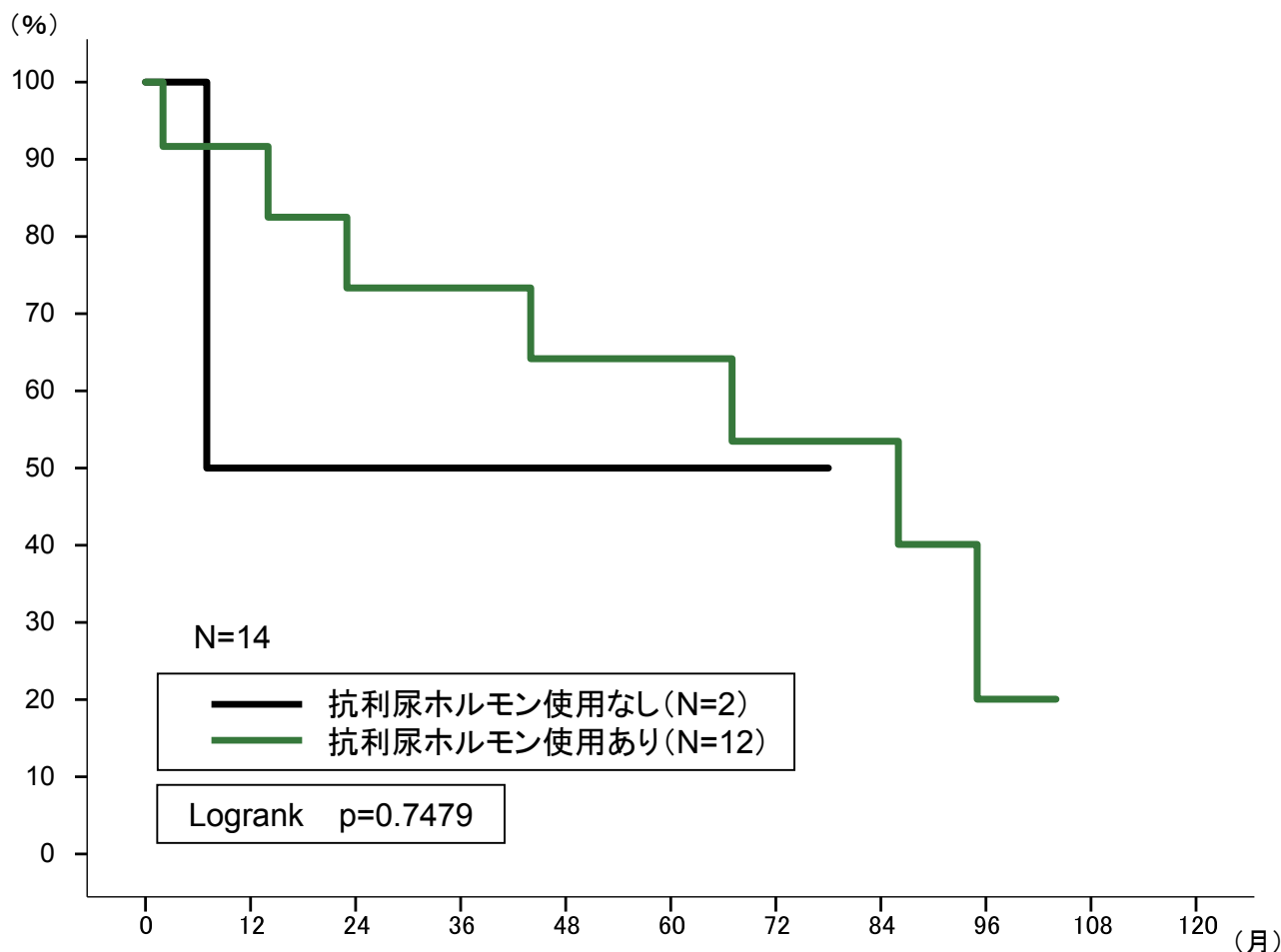
小腸移植14件のドナーにおける抗利尿ホルモンの使用の有無について、5年生存率は、使用ありで73.3%、使用なしで50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.48

小腸移植

ドナー抗利尿ホルモン 生着率



抗利尿ホルモン	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
使用あり	91.7%	73.3%	73.3%	64.2%	64.2%	53.5%	53.5%	20.1%
使用なし	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-

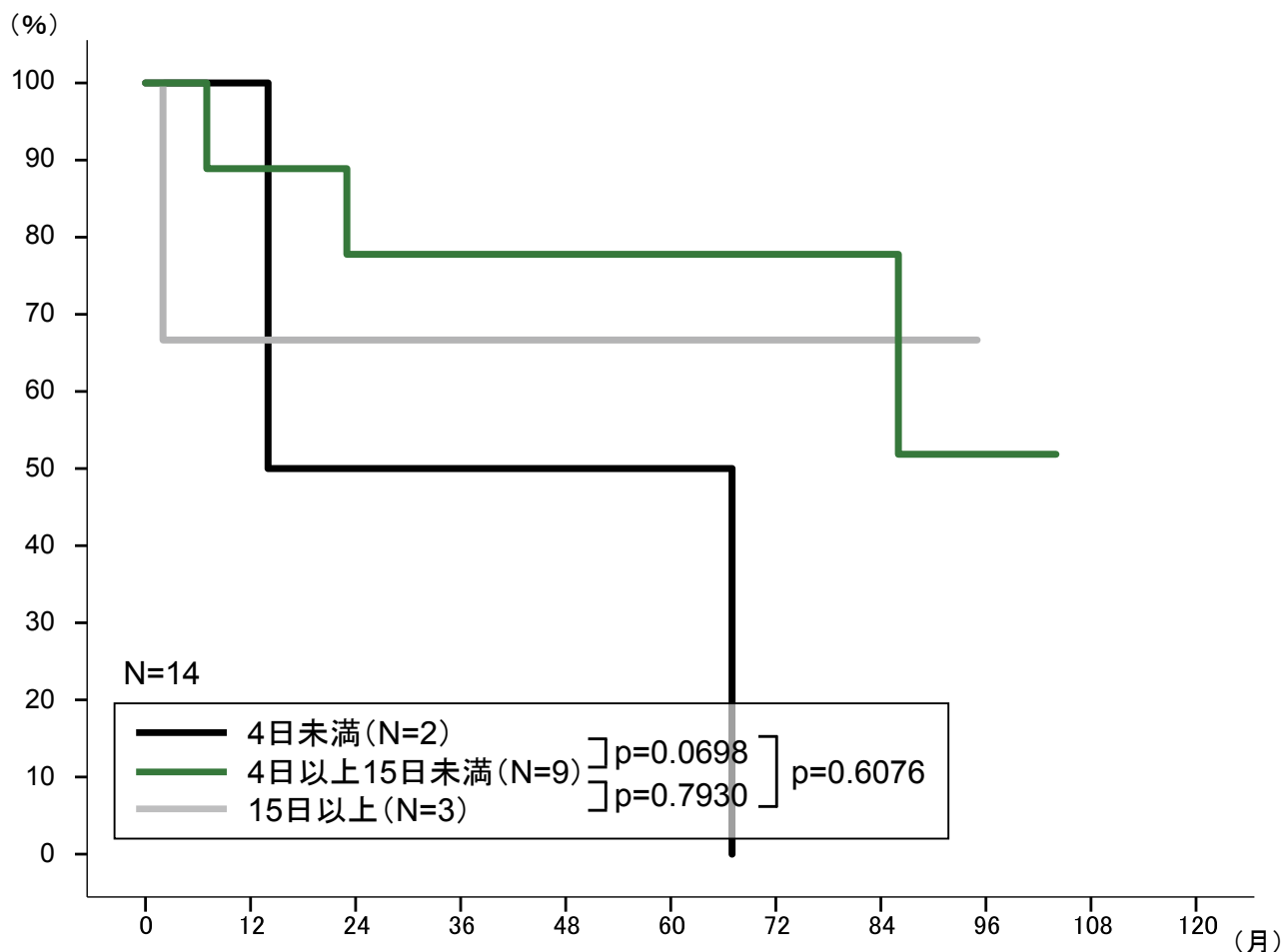
小腸移植14件のドナーにおける抗利尿ホルモンの使用の有無について、5年生着率は、使用ありで64.2%、使用なしで50.0%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.49

小腸移植

ドナー発症からの期間 生存率



発症からの期間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
4日未満	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4日以上15日未満	88.9%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	51.9%
15日以上	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	-

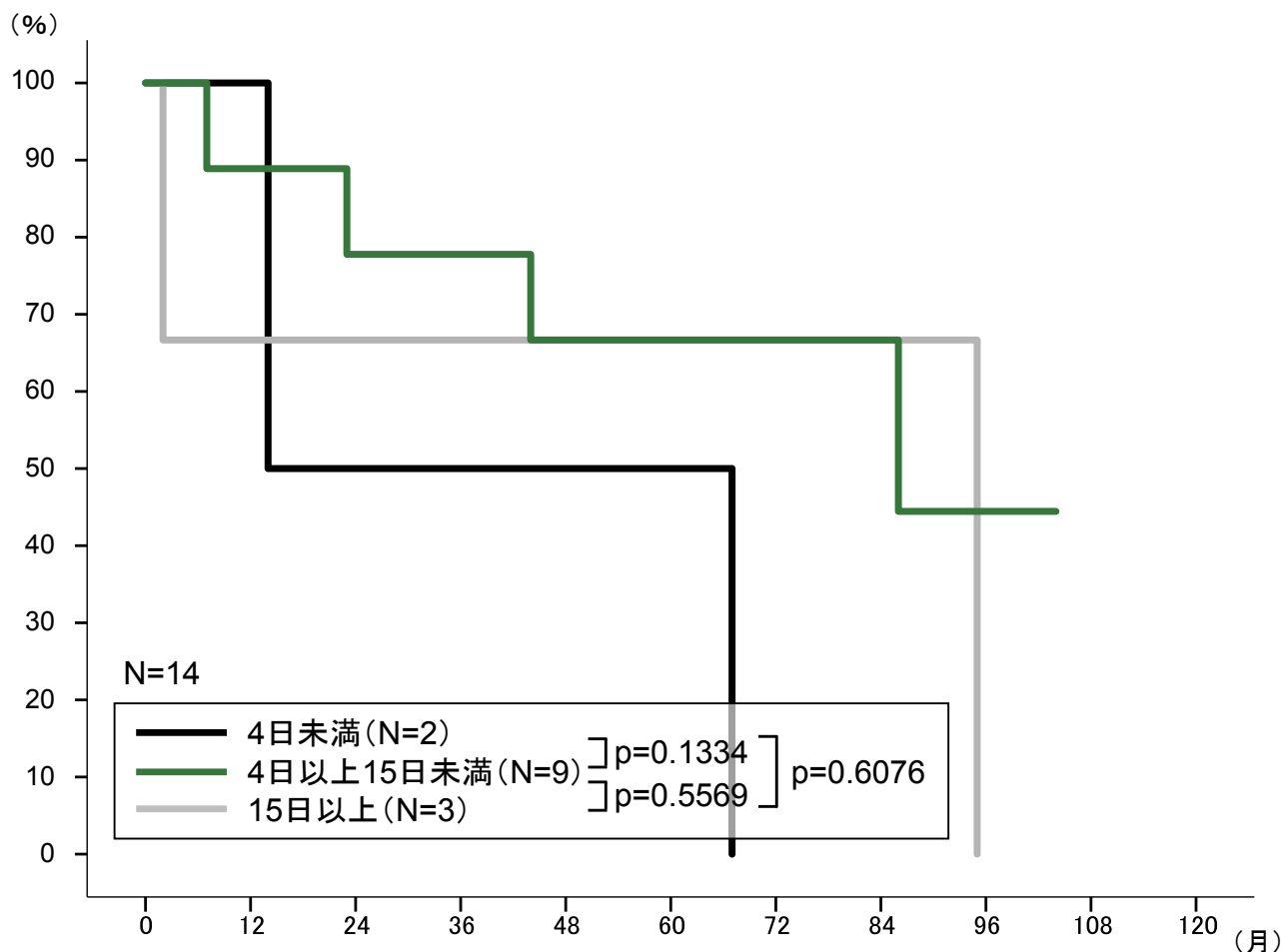
小腸移植14件のドナーの発症から提供までの期間について、5年生存率は、それぞれ4日未満で50.0%、4日以上15日未満で77.8%、15日以上で66.7%であり、それぞれの間の有意差は認められなかった。



図・表 14.50

小腸移植

ドナー発症からの期間 生着率



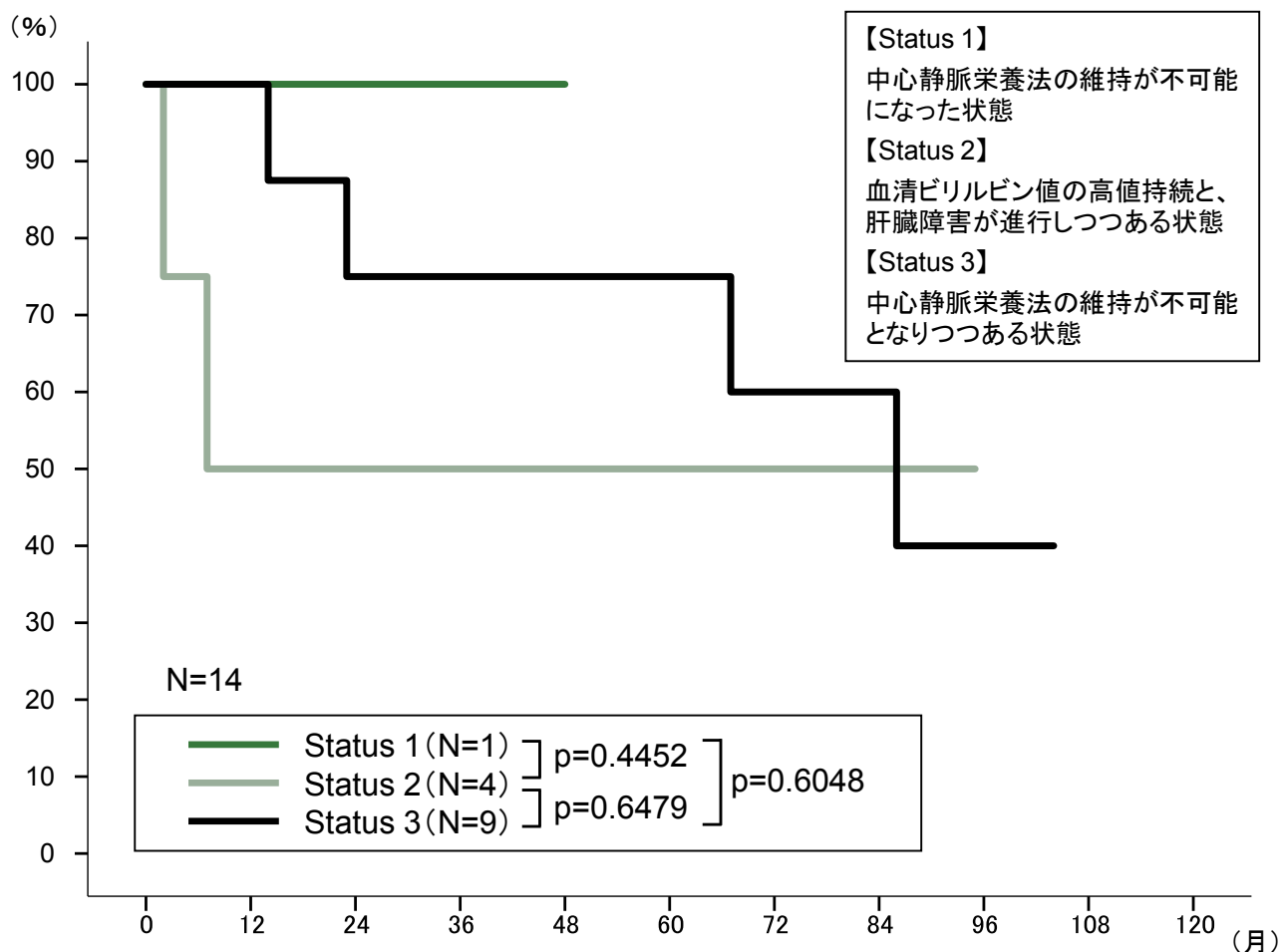
発症からの期間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
4日未満	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4日以上15日未満	88.9%	77.8%	77.8%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	44.4%
15日以上	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%

小腸移植14件のドナーの発症から提供までの期間について、5年生着率は、それぞれ4日未満で50.0%、4日以上15日未満で66.7%、15日以上で66.7%であり、それぞれの間の有意差は認められなかった。



図・表 14.51 小腸移植

レシピエント医学的緊急度 生存率



医学的緊急度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
Status 1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
Status 2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-
Status 3	100.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	60.0%	60.0%	40.0%

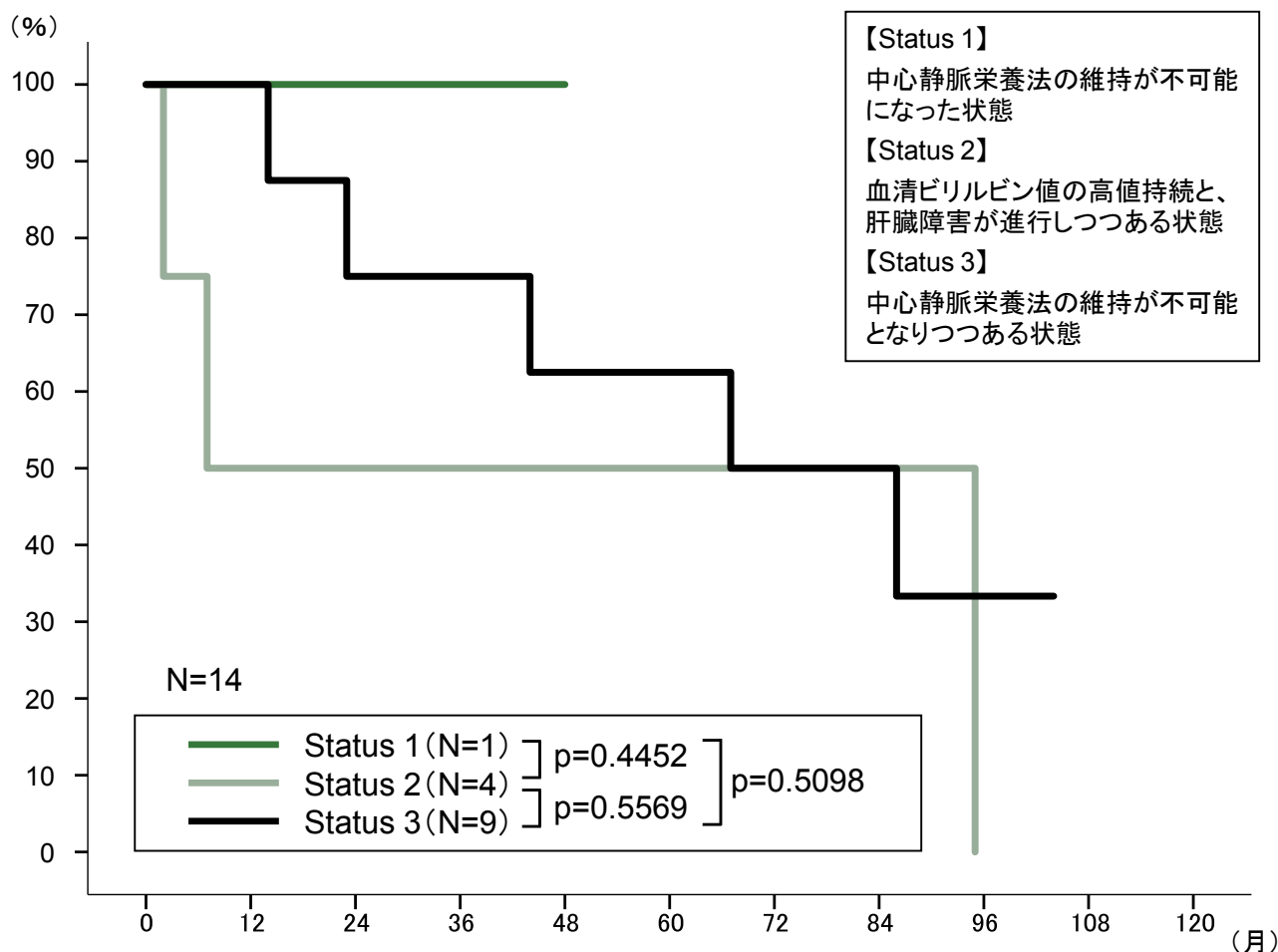
小腸移植14件の医学的緊急度別の4年生存率は、それぞれStatus 1で100.0%、Status 2で50.0%、Status 3で75.0%であり、それぞれの間の有意差は認められなかった。



図・表 14.52

小腸移植

レシピエント医学的緊急度 生着率



医学的緊急度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
Status 1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
Status 2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
Status 3	100.0%	75.0%	75.0%	62.5%	62.5%	50.0%	50.0%	33.3%

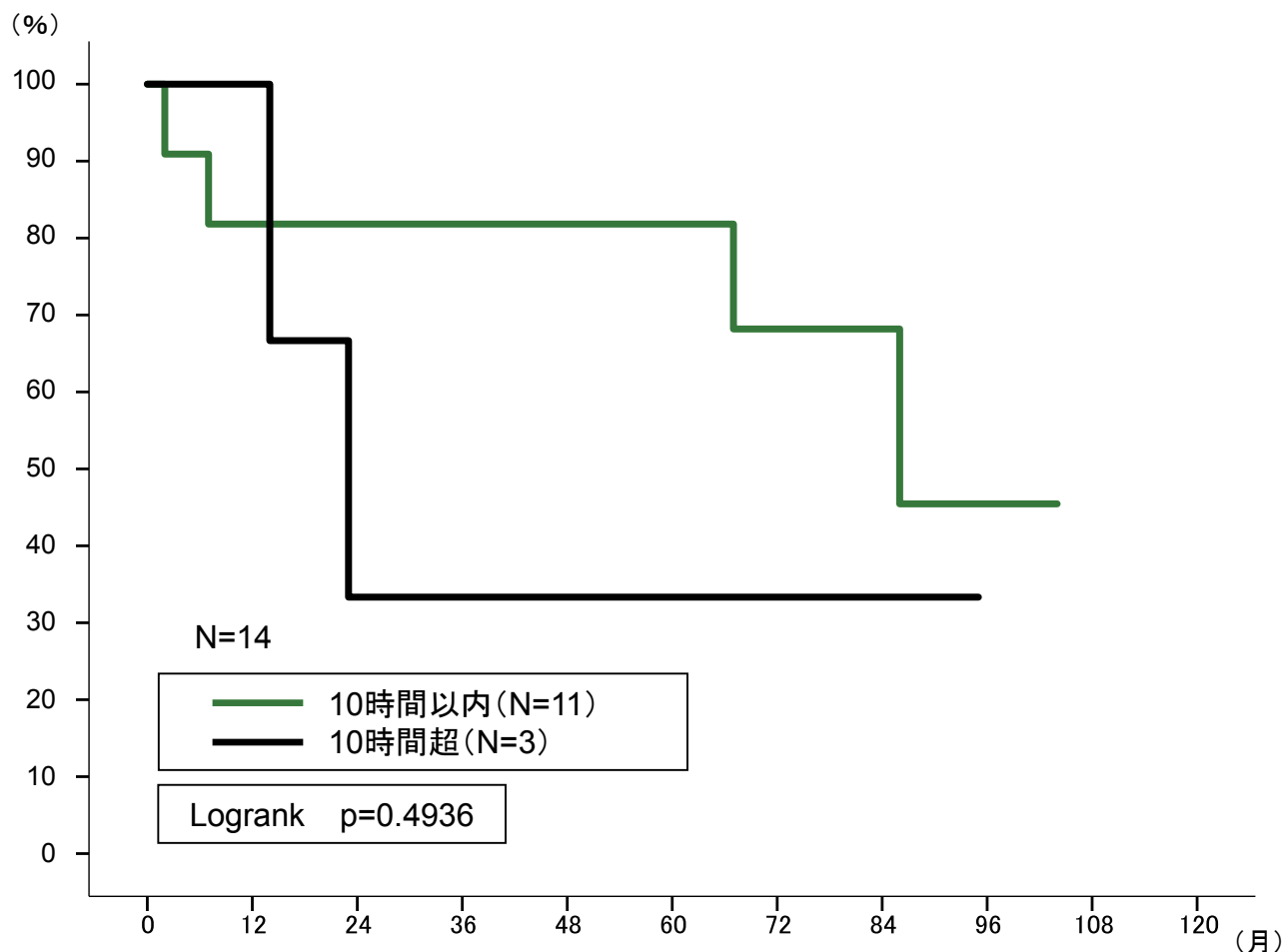
小腸移植14件の医学的緊急度別の4年生着率は、それぞれStatus 1で100.0%、Status 2で50.0%、Status 3で62.5%であり、それぞれの間の有意差は認められなかった。



図・表 14.53

小腸移植

総阻血時間(10時間) 生存率



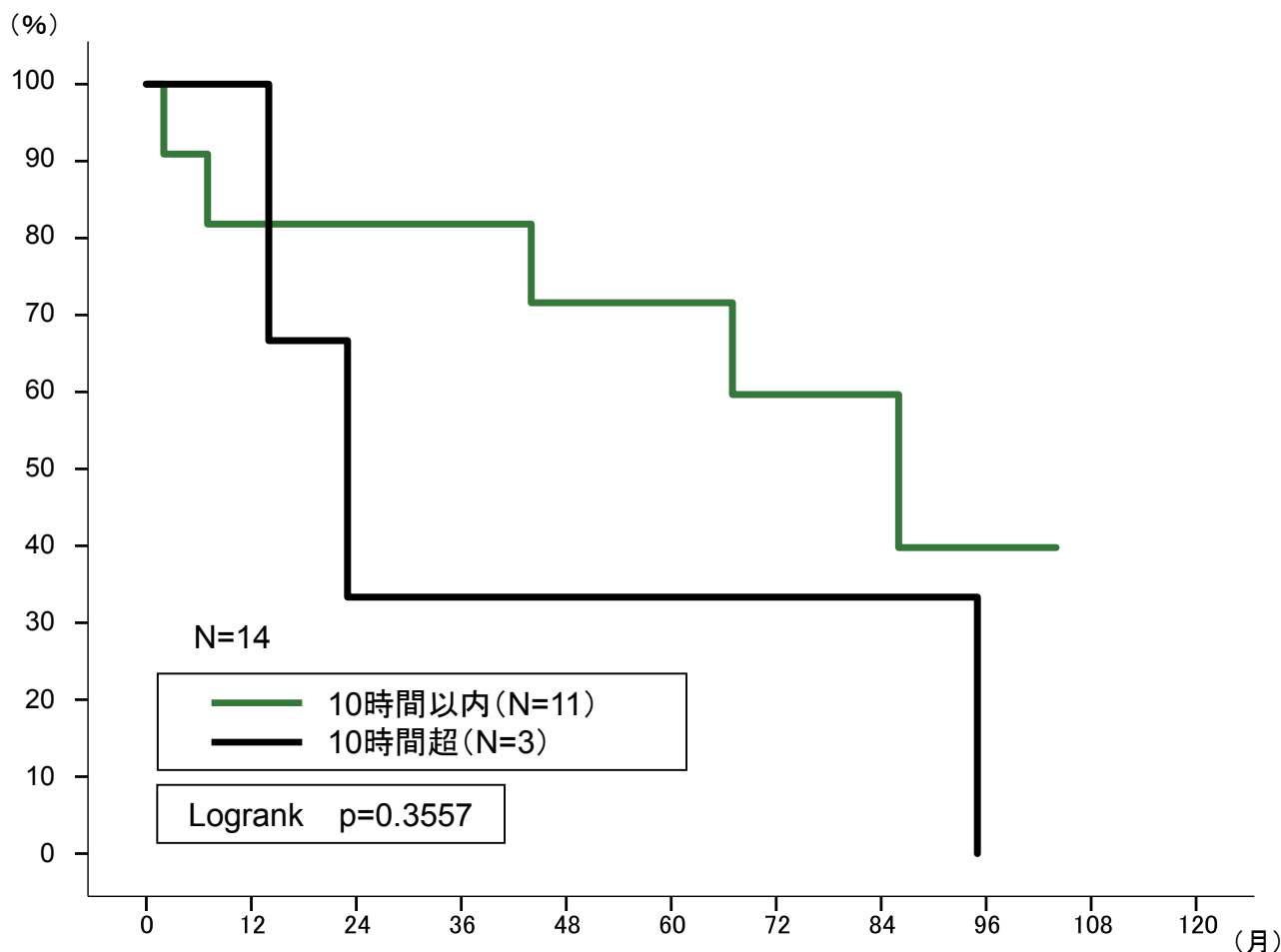
総阻血時間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
10時間以内	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	68.2%	68.2%	45.5%
10時間超	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	-

小腸移植14件の総阻血時間別の5年生存率は、それぞれ10時間以内で81.8%、10時間超で33.3%であり、2群間の有意差は認められなかった。



図・表 14.54 小腸移植

総阻血時間(10時間) 生着率



総阻血時間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
10時間以内	81.8%	81.8%	81.8%	71.6%	71.6%	59.7%	59.7%	39.8%
10時間超	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%

小腸移植14件の総阻血時間別の5年生着率は、それぞれ10時間以内で71.6%、10時間超で33.3%であり、2群間の有意差は認められなかった。

